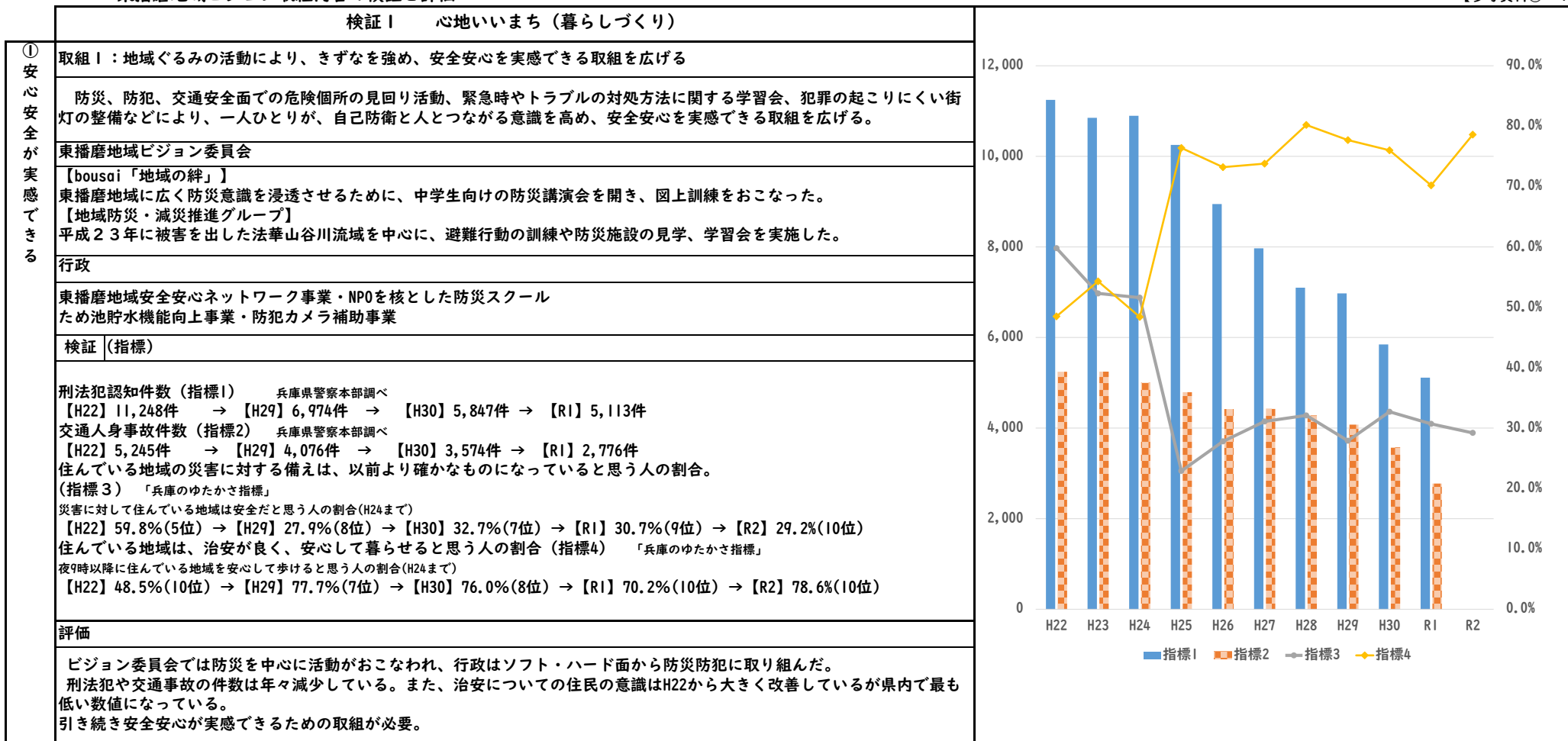


資料編目次

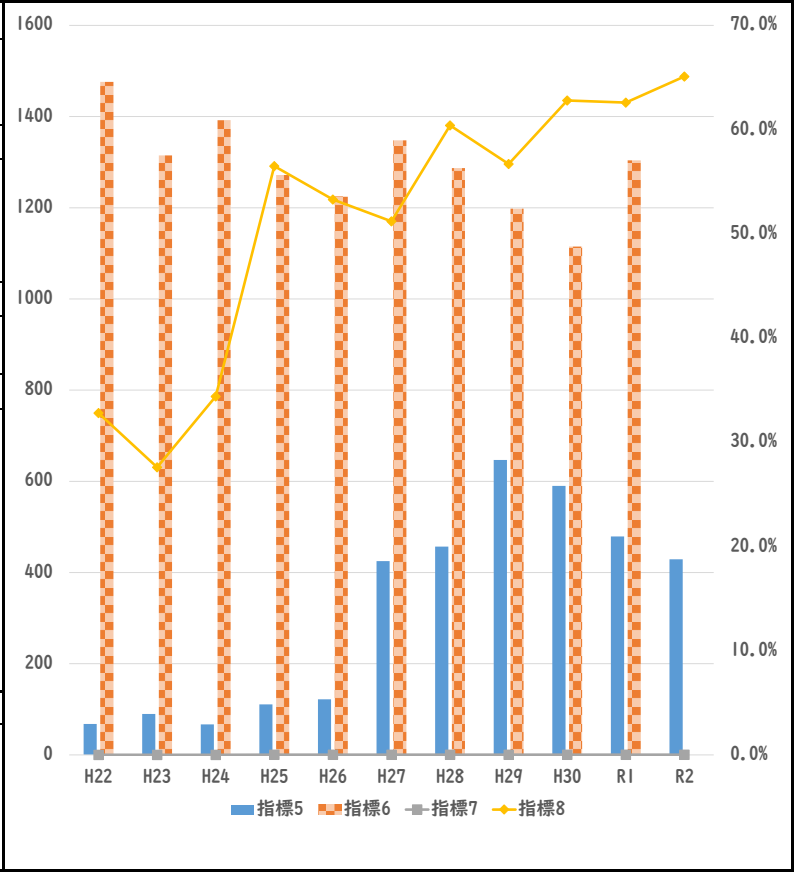
【1】東播磨地域ビジョン取組内容の検証と評価	
検証1・・・心地いいまち	1
検証2・・・楽しいまち	5
検証3・・・美しいまち	9
検証4・・・力強いまち	13
【2】(東播磨地域に暮らす・通勤する・通学する)	
若者アンケート調査結果(概要)	17
問1 東播磨地域に住んでいて良かったと思うこと	18
問2 あなたが思う東播磨地域の魅力	19
問3 現時点で、あなたが思う東播磨地域の理想の姿	20
問4 理想の姿に必要なキーワード	21
問5 30年後、あなたが生活をし、また働いている場所	22
問6 東播磨以外のどこの地域で生活をし、また働いていますか	22
問7 30年後、あなたは誰と一緒に暮らしていますか	23
問8-1 30年後、東播磨地域はどのような姿になっていると思いますか	24
問8-2 30年後に夢見る、こうしたい理想の姿	25
問9 30年後でも、東播磨に残っていてほしいものは何ですか	25
【3】新しいビジョン策定に向けた検討経過	26
【4】東播磨新地域ビジョン検討委員会 委員名簿	28
【5】用語解説	29

東播磨地域ビジョン取組内容の検証と評価

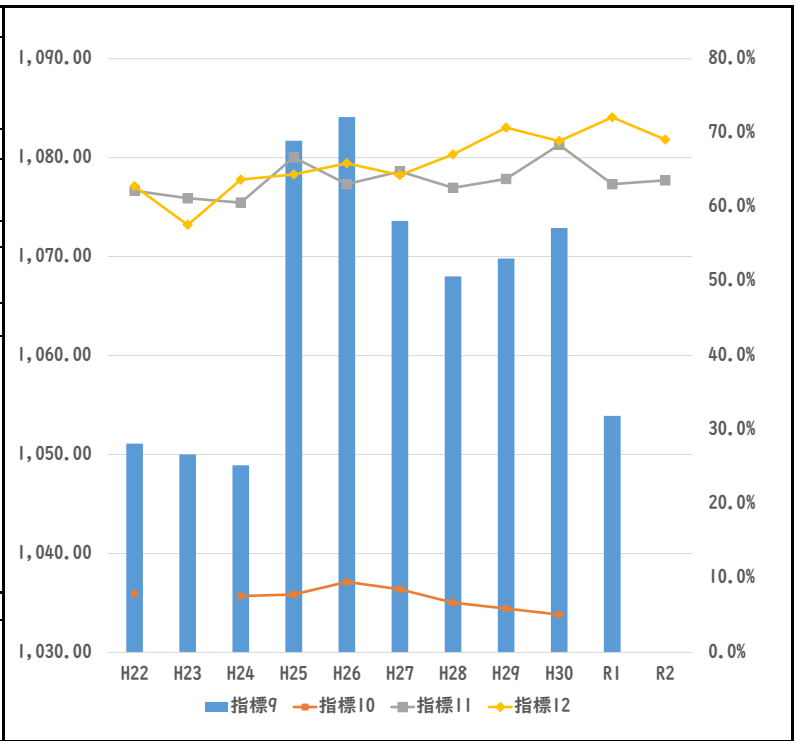
【参考資料①-1】



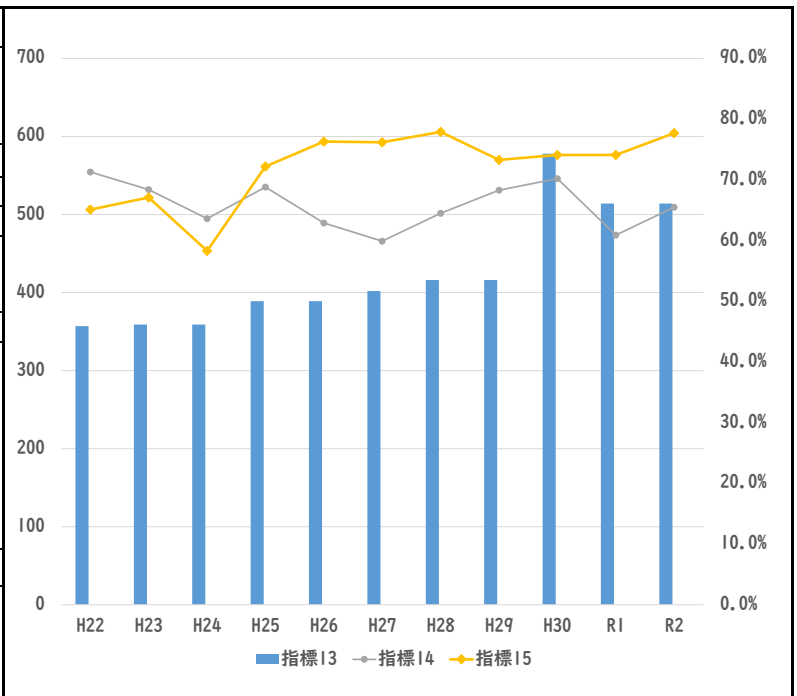
② 顔の見える関係を築き、お互いが寄り添い、ささえあえる	取組2：人と人とのつながりでささえあい、専門機関との連携により、自立を促す
	地域において、保健・福祉・医療・教育・虐待防止などの分野に関する専門的知識、技術及び経験を持つ個人、団体、相談機関等の能力、福祉活動（サービス）をネットワーク化して、マネージメントするなど、地域で助け合い、ささえあいながら、自立できる生活の実現をめざす。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【TEAM☆AGE ² 】 地域活動の熱意を持った人が活躍できるように、企画・活動を支援した
	【地域の結びつき応援隊】 地域の繋がりが疎遠になっている中、地域の人たちが集まる場を作るための場づくりをおこなった
	行政
	虐待予防支援体制の推進、出会い・結婚支援事業の推進、子育て応援ネットの推進 母子・父子・寡婦福祉の推進、精神障害者の地域移行、地域生活支援の強化事業
	検証（指標）
	保育所の待機児童数（指標5） 兵庫県健康福祉部こども政策課調べ 【H22】68人 → 【H29】647人 → 【H30】590人 → 【R1】479人 → 【R2】429人（9位） 離婚件数（指標6） 市区町別主要統計指標（兵庫県統計課） 【H22】1476件 → 【H28】1287件 → 【H29】1198件 → 【H30】1205件 → 【R1】1304件（8位） 住んでいる地域は、高齢者にも暮らしやすいと思う人の割合（指標7） 「兵庫のゆたかさ指標」 住んでいる地域は高齢者や障害者にも暮らしやすいと思う人の割合（H24まで） 【H22】33.0%（7位） → 【H29】51.5%（3位） → 【H30】54.3%（3位） → 【R1】47.6%（4位） → 【R2】55.5%（3位） 住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合（指標8） 「兵庫のゆたかさ指標」 子育てについて地域で支え合う雰囲気があると思う人の割合（H24まで） 【H22】32.8%（5位） → 【H29】56.7%（3位） → 【H30】62.8%（1位） → 【R1】62.6%（1位） → 【R2】65.1%（2位）
	評価
ビジョン委員会では福祉や地域の繋がりを意識した取組がおこなわれ、行政も様々な立場の人を支える取組をおこなった。 保育所の待機児童数はH29年をピークにここ2年は減少、離婚件数も減少傾向である。また、子育てや高齢者の生活がしやすいと考える人が多くなっている傾向にあり、特に子育てしやすいと考える人の割合は県内1位である。 待機児童の解消や、今後増加が見込まれる高齢者が暮らしやすいと思える取組が必要。	



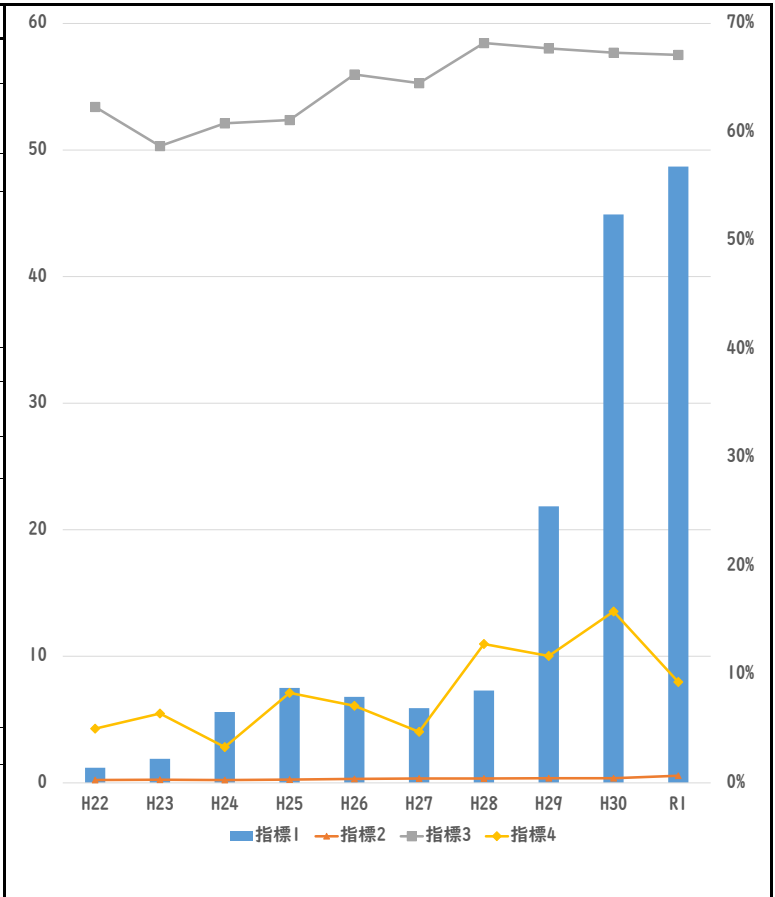
③ 自立して、 明るく、 健康に 生活できる	取組3：主体的な健康づくりの推進と安心できる地域医療体制を確保する
	生活習慣予防、精神保健福祉対策のために、住民自らが主体的な健康づくり活動に取り組み、限られた医療資源を有効に安心して利用できるよう、病状の重症度や緊急性に応じた適正な受診をするとともに、安心して医療・介護サービスが受けられる体制を確保する。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【Loves介護塾】 介護リーダーとなる人材の育成のための学習会や、介護疲れに悩む人たちの交流の場を設けた
	行政
	地域包括ケアシステムの推進支援・東はりま発ヘルシーメニューの普及促進 若者の心と体の健康づくり・感染症対策の推進・健康兵庫21大作戦の推進
	検証(指標)
	人口10万人あたりの病床数(指標9) 医療施設調査(厚生労働省統計情報部) 【H22】1051.1 → 【H28】1068.0 → 【H29】1069.8 → 【H30】1072.9 → 【R1】1053.9(9位)
	がん検診受診率(胃がん)(指標10) 兵庫県健康福祉部疾病対策課調べ 【H22】7.9% → 【H28】6.7% → 【H29】5.9% → 【H30】5.1%
	心身ともに健康であると感じる人の割合(指標11) 「兵庫のゆたかさ指標」 健康づくりに取り組んでいる人の割合(H24まで) 【H22】62.2%(3位) → 【H29】63.8%(6位) → 【H30】68.4%(2位) → 【R1】63.1%(7位) → 【R2】63.6%(8位)
かかりつけの医者がある人の割合(指標12) 「兵庫のゆたかさ指標」 【H22】62.8%(7位) → 【H29】70.7%(9位) → 【H30】68.9%(7位) → 【R1】72.1%(5位) → 【R2】69.1%(9位)	
評価	
ビジョン委員会は介護士のリーダーの育成を目指す取組がおこなわれ、行政は医療体制の整備や生活習慣の改善を図った。病床数やかかりつけ医の数など、医療体制の充実が見られるが、胃がん検診受診率や健康意識は低下傾向にある。自立した健康づくりの実践とそれに向けた意識啓発が必要	



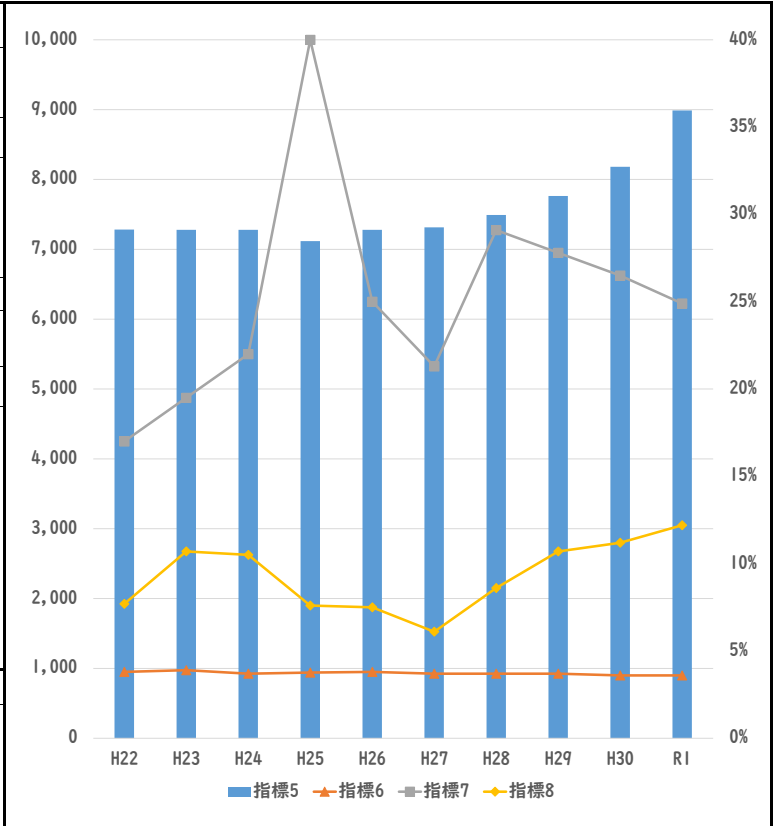
④ らせる 穏やかな 気候と 便利さを 生かして、 ゆとりを もって暮	取組4：住民主体のまちなみづくりと便利で快適な住みよい暮らしを提案する
	まちに潤いとさわやかさをもたらず花と緑の植栽活動や、暮らしに便利な移動手段を確保し、使えるシステムを構築するなど、望ましいまちなみや便利で快適な住みよい暮らしについて、地域住民自らが考え、行動するとともに、具体的な提案をする。
	東播磨地域ビジョン委員会
	該当無し
	行政
	日常生活や地域を支える社会基盤の充実「東播磨道の整備推進」・まちなみ緑化事業 自動運転の実証実験・明石公園の良好な環境保全
	検証（指標）
	コミュニティバス停留所数（指標13） 東播磨県民局加古川土木事務所調べ 【H22】357箇所 → 【H29】416箇所 → 【H30】578箇所 → 【R1】514箇所 → 【R2】514箇所
	住んでいる地域は、買い物や通院に便利だと思う人の割合（指標14） 「兵庫のゆたかさ指標」 【H22】71.3%(2位) → 【H29】68.3%(2位) → 【H30】70.2%(2位) → 【R1】60.9%(4位) → 【R2】65.5%(4位)
	住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合（指標15） 「兵庫のゆたかさ指標」 住んでいる地域に住み続けたい人の割合（H24まで） 【H22】65.1%(7位) → 【H29】73.3%(9位) → 【H30】74.1%(6位) → 【R1】70.2%(6位) → 【R2】77.7%(3位)
評価	
行政は公共交通や交通網の充実を図った。住民意識は、利便性を感じる人の割合は減少傾向にあるが、住み続けたいと思う人の割合が増加傾向にある。 高齢者等の利用者ニーズに合った交通手段による利便性の確保が課題。	



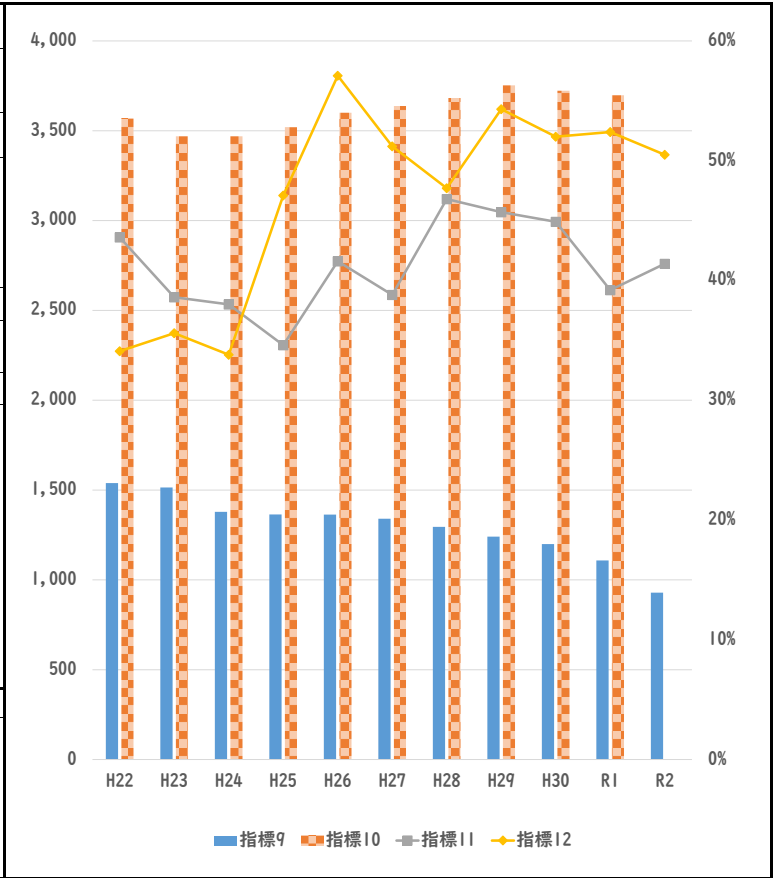
検証2 楽しいまち（人づくり）	
①次代の担い手となる若い力を育てられ、ともに成長できる	取組5：若者の個性と夢を育むとともに、大人も学べる機会を充実させる
	人の個性を大切にしながら、子ども・若者が夢をみる力を育み、実現に向けた活動を応援するとともに、モラルや市民としての社会的責任を果たすことが問われている中、道徳観、倫理観及び教養について、大人も学ぶ機会を充実させる。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【ハートランド弁論大会実行委員会】 30年後の社会を担う子供たちの地域社会に対する意識を醸成するため、管内の中学校の生徒を対象とした弁論大会を開催した。
	【仁譲塾】 論語を通じて若者の人格形成を図り、「論語素読会」や「子ども論語素読教室」を開催した。
	行政
	未来をひらく少年会議、東播磨「人・まち」わくわく学び塾 「ひょうご子ども・若者応援団」事業の推進、大人が変われば子どもも変わるキャンペーンの展開
	検証（指標）
	児童1,000人あたりのいじめ発生件数（小学校）（指標1） 兵庫県教育委員会事務局播磨東教育事務所調べ 【H22】1.2件 → 【H28】7.3件 → 【H29】21.85件 → 【H30】44.91件 → 【R1】48.70件 不登校児童生徒の割合（小学校）（指標2） 兵庫県教育委員会事務局播磨東教育事務所調べ 【H22】0.27% → 【H28】0.41% → 【H29】0.41% → 【H30】0.43% → 【R1】0.66% 住んでいる地域の子どもは、伸び伸びと育てていると思う人の割合（指標3） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】62.3%(5位) → 【H29】67.7%(6位) → 【H30】67.3%(5位) → 【R1】67.1%(6位) → 【R2】62.6%(9位) 若者が希望を持てる社会だと思う人の割合（指標4） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】5.0%(5位) → 【H29】11.7%(6位) → 【H30】15.8%(4位) → 【R1】9.3%(7位) → 【R2】18.6%(1位)
	評価
地域ビジョン委員会は委員の得意分野を活かした方法で若者の育成に取り組んだ。 また、行政も地域住民と協力した若者育成事業をおこなった。 いじめの発生件数・不登校児童の割合がともに増加している。一方、住民の子どもに対する意識はわずかによくなっており、若者が希望を持てる社会だと思う人の割合も増加傾向にある。若者の個性と夢を育む取組が必要。	



② 人の 多 様 な 考 え 方 、 生 き 方 を 理 解 し 、 応 援 す る 環 境 を つ く る	取組6：いろいろな考え方、生き方を理解し、応援する環境をつくる
	人が望む多様な生活をできる限りかなえられる地域社会となるよう、いろいろな考え方、生き方を理解する機会を設けるとともに、これらを応援する施設、システム等を整備する。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【夢のたね】 子どもが自身の将来について考えるきっかけづくりとして、管内の小学校で職業体験学習を実施した。
	【Dawg with】 命の大切さや思いやる気持ちを学ぶために、小学校や福祉施設でふれあい授業を開催した。
	行政
	男女共同参画推進員を通じた啓発・兵庫ゆずりあい駐車場の普及推進 チャレンジショップ「きずな」の販売力強化による障害者の自立支援
	検証 (指標)
	在留外国人数 (指標5) 県内在留外国人数一覧(兵庫県国際交流課) 【H22】7,284人 → 【H28】7,492人 → 【H29】7,764人 → 【H30】8,183人 → 【R1】8,989人 (5位) 障害者手帳所持率 (指標6) 東播磨県民局加古川健康福祉事務所調べ 【H22】3.8% → 【H28】3.7% → 【H29】3.7% → 【H30】3.6% 不当な差別がない社会だと思う人の割合 (指標7) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】17.0%(10位) → 【H29】27.8%(7位) → 【H30】26.5%(9位) → 【R1】24.9%(10位) → 【R2】31.8%(2位) 性別や年齢を問わず、働きやすい環境が整っていると思う人の割合 (指標8) 兵庫のゆたかさ指標 性別や年齢を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思う人の割合 (H24まで) 【H22】7.7%(4位) → 【H29】10.7%(4位) → 【H30】11.2%(3位) → 【R1】12.2%(2位) → 【R2】10.6%(4位)
	評価
地域ビジョン委員会では小学校の授業に参加し、子ども達に自身の将来やお互いを思いやる心を学ぶ機会を設けた。 また、行政は多様性が尊重されるための取組をおこなった。 在留外国人は平成25年以降増加し続けている。また、住民意識はよくなっている傾向にあるが、いずれも低い割合であるため、多様な生き方、働き方を尊重し支援する社会づくりへの取組がさらに必要。	



③ 自らの 生きる 意義を 考え、 生きが いを持 てる	取組 7：生涯充実をめざし、培ってきた知識、技術及び経験を地域のために還元する
	人が生きがいを感じて、充実した生活を過ごせるよう、自らが培ってきた知識、技術及び経験を地域社会へ還元できる環境づくりを進める
	東播磨地域ビジョン委員会
	【チャレンジ・ナビ】 地域の高齢者が昔遊びなどの文化を子供たちに継承するためのイベントを開催し、文化の継承と地域リーグの育成を図った。 【東播磨に駒音を響かそう】 青少年の健全育成・シニア世代の生きがい創出、世代間の交流を図り、将棋を用いた交流会や将棋大会を開催した。
	行政
	シニア世代地域デビュー交流フェスタ事業・地域づくり伝統文化交流事業
	検証 (指標)
	県立高齢者大学の受講者数 (指標9) 兵庫県企画県民部県民生活課調べ 【H22】1,539人 → 【H29】1,242人 → 【H30】1,199人 → 【R1】1,108人 → 【R2】929人 シルバー人材センター会員数 (指標10) (公社)兵庫県シルバー人材センター協会調べ 【H22】3,571人 → 【H28】3,682人 → 【H29】3,753人 → 【H30】3,723人 → 【R1】3,698人 (4位) 目的をもって学んでいることがある人の割合 (指標11) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】43.6%(1位) → 【H29】45.7%(4位) → 【H30】44.9%(5位) → 【R1】39.2%(9位) → 【R2】41.4%(6位) 住んでいる地域で、異なる世代の人と付き合いがある人の割合 (指標12) 兵庫のゆたかさ指標 地域の異なる世代の人とつきあいがある人の割合 (H24まで) 【H22】34.1%(8位) → 【H29】54.3%(7位) → 【H30】52.0%(7位) → 【R1】52.4%(7位) → 【R2】50.5%(7位)
	評価
	地域ビジョン委員会では、高齢者が地域の若者と交流し、知識や経験の継承を図った。 行政は高齢者が地域活動に積極的に参加できるよう支援をおこなった。 高齢者大学の受講者数は年々減少しているが、シルバー人材センターの会員数は増加傾向にある。 また、世代間交流は増加しているが、学びについての意識は低下傾向であることから、意欲を持って生涯学習に取り組むための働きかけが課題。



④ 多彩な知恵とアイデアが交わり、お互いを高め、楽しさを創造できる

取組8：交流チャンネルと意欲ある人材の開拓により、新しい地域づくり活動を呼び起こす

参画と協働の拠点施設が持つコミュニティ団体とのネットワークの活用や、中間支援組織の育成を促し、地域づくり活動の新たな展開をはかるよう活用する。

東播磨地域ビジョン委員会

【東はりまコミュニティがく団】

地域活動に興味がある人のきっかけ作り・学びの場として「NPOカフェ」を開催した。

【ハートランドぐり石ネット】

地域活動の楽しさを広く知ってもらうために、ふるさと探訪やパソコン楽習塾など様々な活動を展開した。

行政

東播磨生活創造センター「かこむ」の運営・地域づくり活動支援事業

高砂みなどまちづくり・こころ豊かな人づくり500人委員育成事業

検証（指標）

東播磨生活創造センターのかこむ倶楽部登録数（指標13） シミズシーズ・BANBANネットワークス協同事業体(指定管理者)

【H23.3末】305グループ → 【H31.3末】334グループ → 【R2.3末】394グループ → 【R2.10末】311グループ

住んでいる地域のことに関心がある人の割合（指標14） 兵庫のゆたかさ指標

(H24まで) 地域の風土や文化について知っている人の割合

【H22】31.1%(9位) → 【H29】69.2%(8位) → 【H30】71.6%(7位) → 【R1】67.1%(8位) → 【R2】71.8%(5位)

住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したい人の割合(指標15) 兵庫のゆたかさ指標

(H24まで) 地域の行事によく参加する人の割合

【H22】37.6%(7位) → 【H29】39.7%(5位) → 【H30】38.3%(6位) → 【R1】36.4%(7位) → 【R2】30.0%(9位)

ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい人の割合(指標16) 兵庫のゆたかさ指標

地域活動やボランティア活動をしている人の割合 (H24まで)

【H22】23.4%(8位) → 【H29】34.5%(7位) → 【H30】35.0%(8位) → 【R1】33.6%(7位) → 【R2】31.8%(9位)

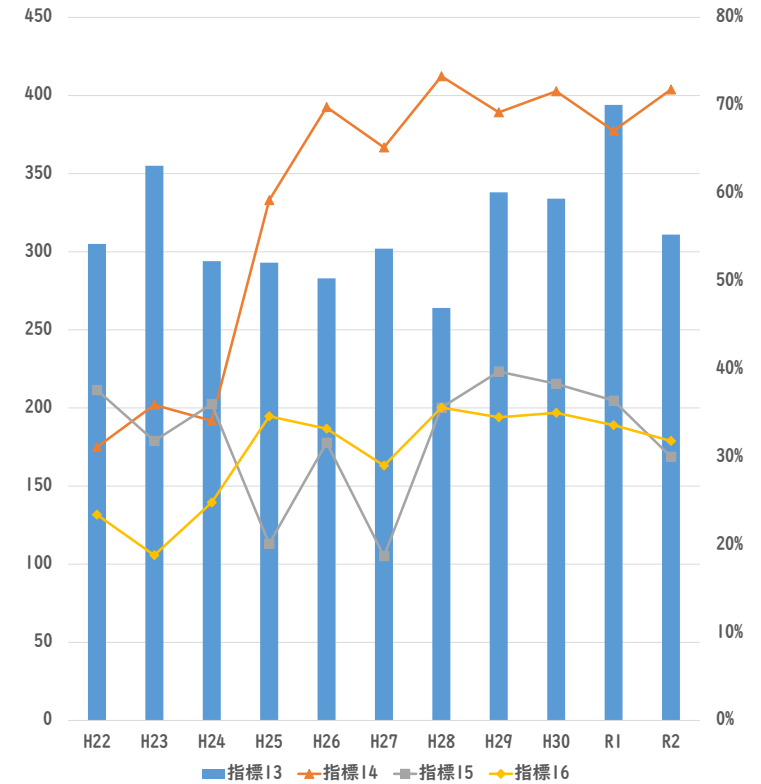
評価

地域ビジョン委員会では、地域づくり活動の立ち上げの支援や、参加のきっかけとなる取組をおこなった。

行政では地域づくり活動の拠点の整備や資金面での支援をおこなった。

地域に関心のある人の割合が増加し、かこむの登録団体数も増加している。

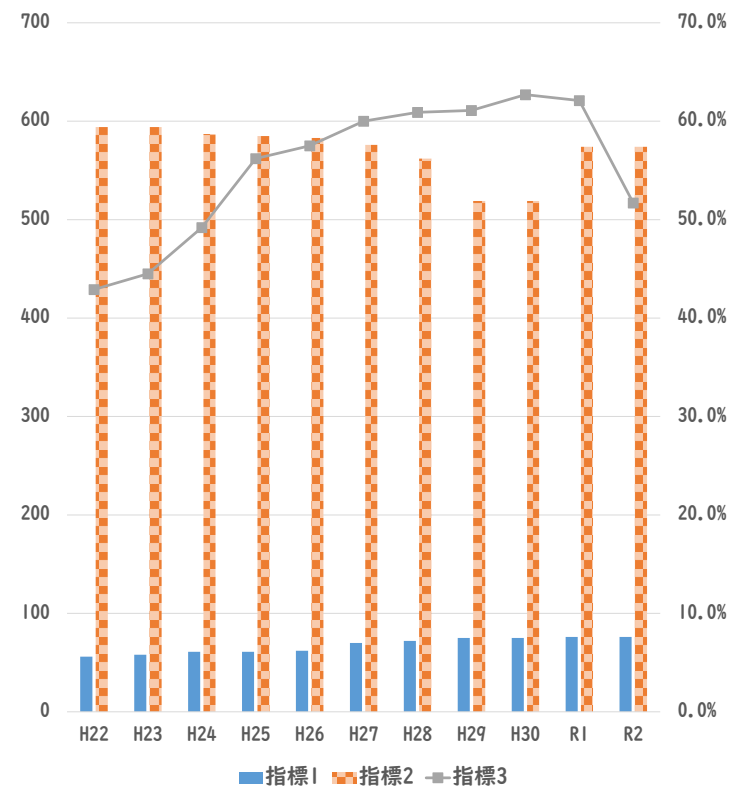
また、ボランティアなどへの参加意欲も増加傾向にあり、引き続き地域活動への参加を促進する場づくりなどが必要。



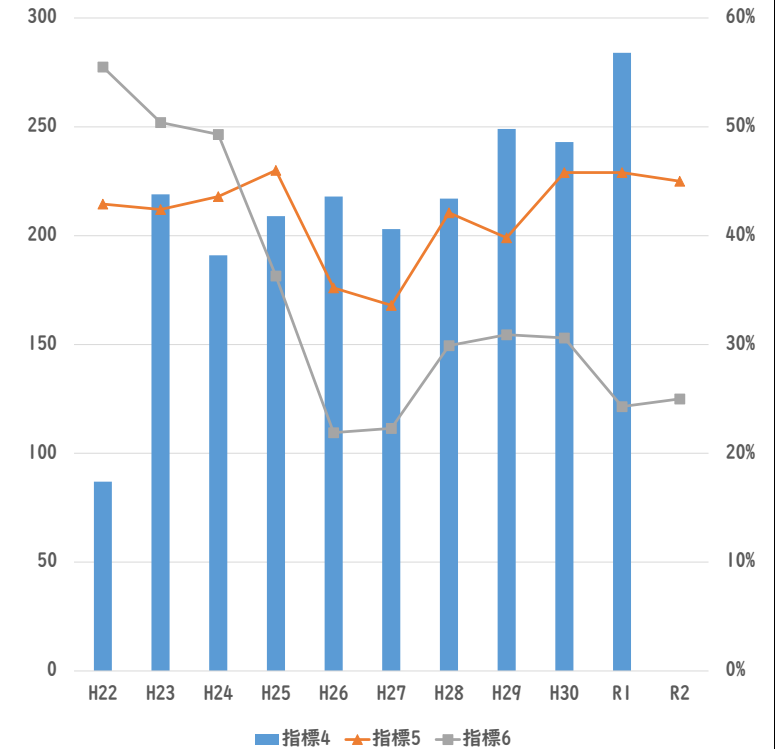
検証3 美しいまち（まちづくり）

① 循環する水の路を愛しみ、流域文化の高さと美しさを体感できる

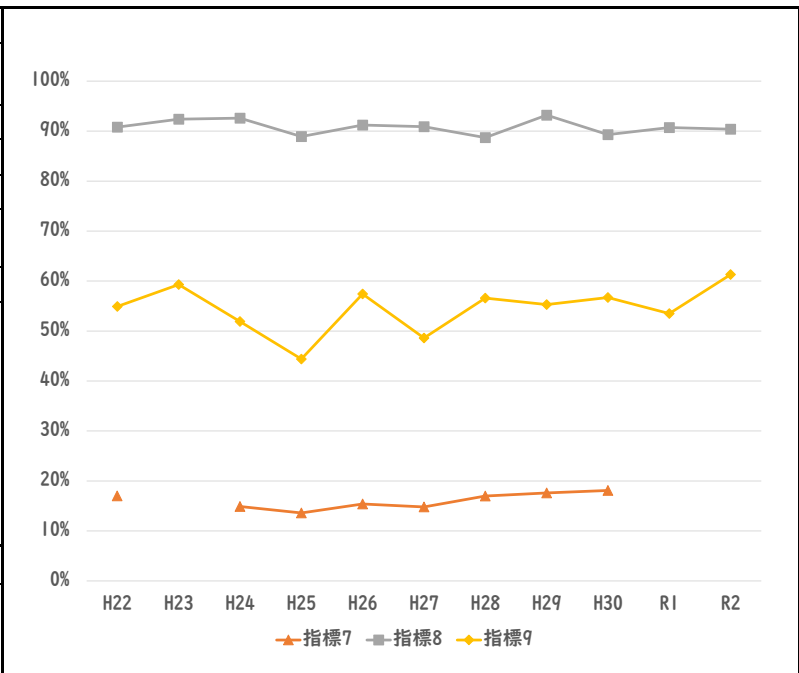
取組9：いなみ野ため池ミュージアムを核としたプロジェクトを推進する
東播磨地域の象徴であるため池をはじめとした水辺地域全体をまるごと博物館に見立てた「いなみ野ため池ミュージアム」を核として、それぞれの水辺地域をつなぐネットワークである「循環する水の路」が培ってきた流域文化を探り、これを発信する。
東播磨地域ビジョン委員会
【東播磨コミュニティプランナーズ】 「新川池」を中心に、ため池と地域住民の関係について考えるきっかけ作りとして外来種の駆除やかい掘りのイベントを開催した。
行政
水辺の魅力アップ交流促進事業・ため池コウノトリプロジェクトの推進 オ池リンピック2020の開催・東播磨水辺名所づくり・官学連携による持続可能な水辺地域づくりの推進
検証（指標）
ため池協議会の設立状況（指標1） 東播磨県民局水辺地域づくり担当調べ 【H22】56団体 → 【H29】75団体 → 【H30】75団体 → 【R1】76団体 → 【R1】76団体
ため池数（指標2） 兵庫県加古川流域土地改良事務所調べ 【H22】594箇所 → 【H29】519箇所 → 【H30】519箇所 → 【R1】574箇所 → 【R2】574箇所（8位）
ため池整備率（指標3） 兵庫県加古川流域土地改良事務所調べ 【H22】42.9% → 【H29】61.1% → 【H30】62.7% → 【R1】62.1% → 【R2】51.7%
評価
地域ビジョン委員会では、ため池の自然やその管理に関わる人たちについて、地域に発信する取組がおこなわれた。行政ではため池文化の発信のほか、コウノトリなどを通じて人とため池の共生を図った。ため池の整備率は上昇し、ため池協議会の数も増加している。 協議会リーダーの世代交代に伴う新たな組織体制の構築や、ため池という地域資源を活用したさらなる価値の創出に向けた取組が必要。



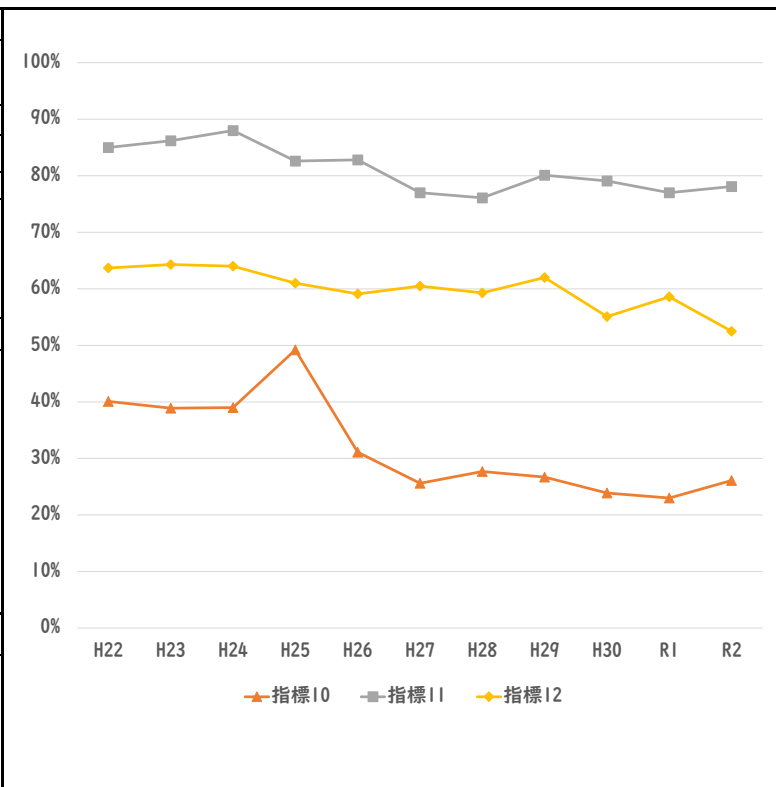
② 人と自然が共生し、生態系を保全できる	取組10：豊かな水辺地域の生態系を学び、環境保全活動に取り組む
	豊かな水辺地域の生態系を保全するため、水辺環境の再生を図る実践活動を展開するとともに、上流域の活動と連携しながら、多様な活動主体が、森・川・海の再生に向けた体験型環境学習事業に参画する。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【水辺に学ぶプロジェクト】 地域の豊かな水辺を発信するため、小学生を対象とした生き物観察会の開催や希少生物の保護活動をおこなった。
	行政
	ため池協議会水系ネットワーク化の推進・地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催・水辺の魅力アップ交流促進事業人と野生動物が共生のできる森づくりと地域の活性化・豊かな海の再生プロジェクト
	検証（指標）
	池干しをしているため池の数（指標4） 東播磨県民局水辺地域づくり担当調べ 【H22】87箇所 → 【H28】217箇所 → 【H29】249箇所 → 【H30】243箇所 → 【R1】284箇所 住んでいる市・町の自然環境は守られていると思う人の割合（指標5） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】42.9%（10位） → 【H29】39.8%（8位） → 【H30】45.8%（9位） → 【R1】45.8%（7位） → 【R2】45.0%（9位） 住んでいる市・町で、自然の生き物（動物・植物）とふれあう機会があると思う人の割合（指標6） 兵庫のゆたかさ指標 身近に自然とふれあえる場がある人の割合（H24まで） 【H22】55.5%（9位） → 【H29】30.9%（9位） → 【H30】30.6%（10位） → 【R1】24.3%（10位） → 【R2】25.0%（10位）
	評価
	地域ビジョン委員会では、住民が古川河川敷・河口の自然とふれあう体験学習をおこなった。行政では生態系の保護や、地域社会との共生を目的とした取組をおこなった。池干しがおこなわれているため池は増加傾向にある。また、自然環境が守られていると思う人の割合は若干増加している。一方で自然とふれあう機会があると考える人の割合が減少している。身近な環境には素晴らしい自然があると感じることができる取組がさらに必要。



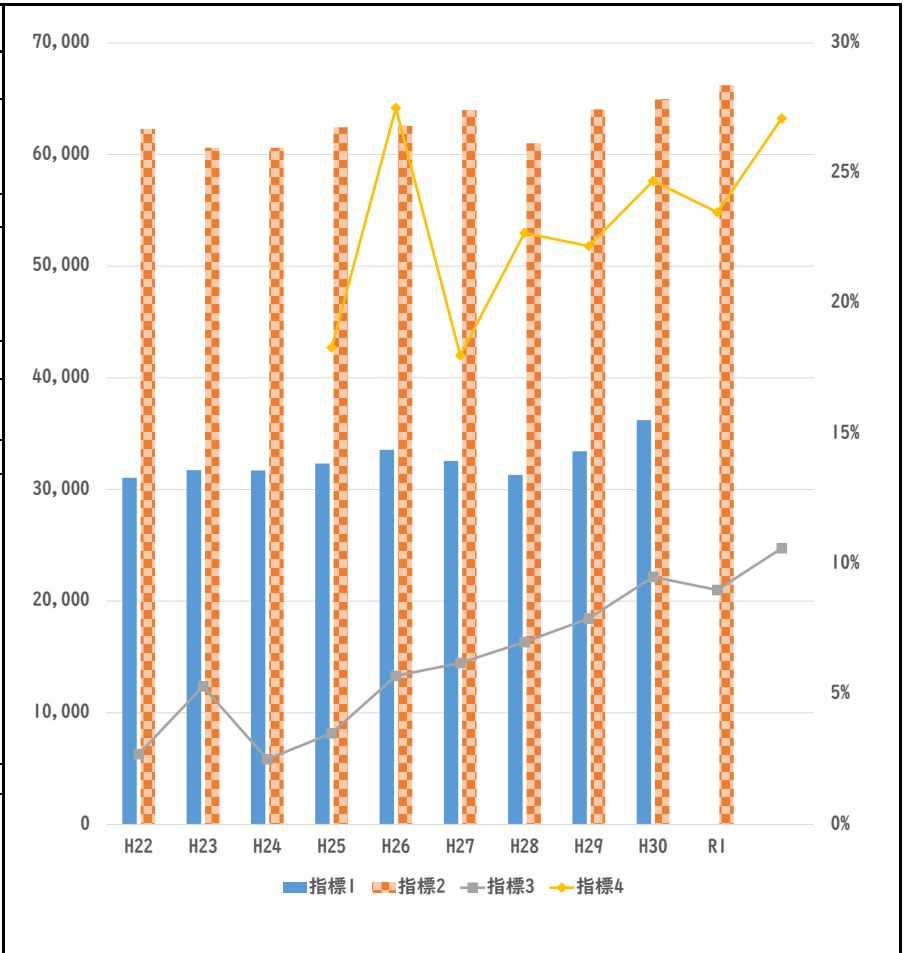
③ 持 続 可 能 な 環 境 型 地 域 の モ デ ル と な れ る	取組ⅠⅠ： 資源の循環を促し、環境への負荷を低減する活動に取り組む
	家庭や事業所におけるごみの減量をはじめとする3R活動をさらに深めるとともに、ゴミや不要となるモノの資源化を図り、環境に優しい行動が、地域の経済的な活動として、持続できる仕組みを構築し、展開する。
	東播磨地域ビジョン委員会
	該当なし
	行政
	地域でe~co（えーこ）とクリーン作戦・「廃棄物エコ手形制度」の推進 不法投棄防止対策支援・人工衛星画像を活用した不法投棄監視活動
	検証（指標）
	リサイクル率（一般廃棄物）（指標7） 兵庫県的一般廃棄物処理（兵庫県環境整備課） 【H22】17.0% → 【H28】17.0% → 【H29】18.6% → 【H30】18.1% ゴミの分別やリサイクルに取り組んでいる人の割合（指標8） 兵庫のゆたかさ指標 ゴミの分別やリサイクルに協力している人の割合（H24まで） 【H22】90.8%（9位） → 【H29】93.2%（2位） → 【H30】89.3%（7位） → 【R1】90.7%（5位） → 【R2】90.4%（7位） 住んでいる地域のまちなみはきれいだと思う人の割合（指標9） 兵庫のゆたかさ指標 住んでいる地域はきれいだと思う人の割合（H24まで） 【H22】54.9%（9位） → 【H29】55.3%（5位） → 【H30】56.7%（8位） → 【R1】53.5%（9位） → 【R2】61.3%（5位）
	評価
	行政はゴミの不法投棄への対策や、住民のゴミ分別を推進した。 リサイクル率は緩やかに増加しているが、ゴミに対する意識などは大きな変化は見られなかった。 ゴミの分別について定着がうかがえるものの、男性や若年層への意識啓発が必要。



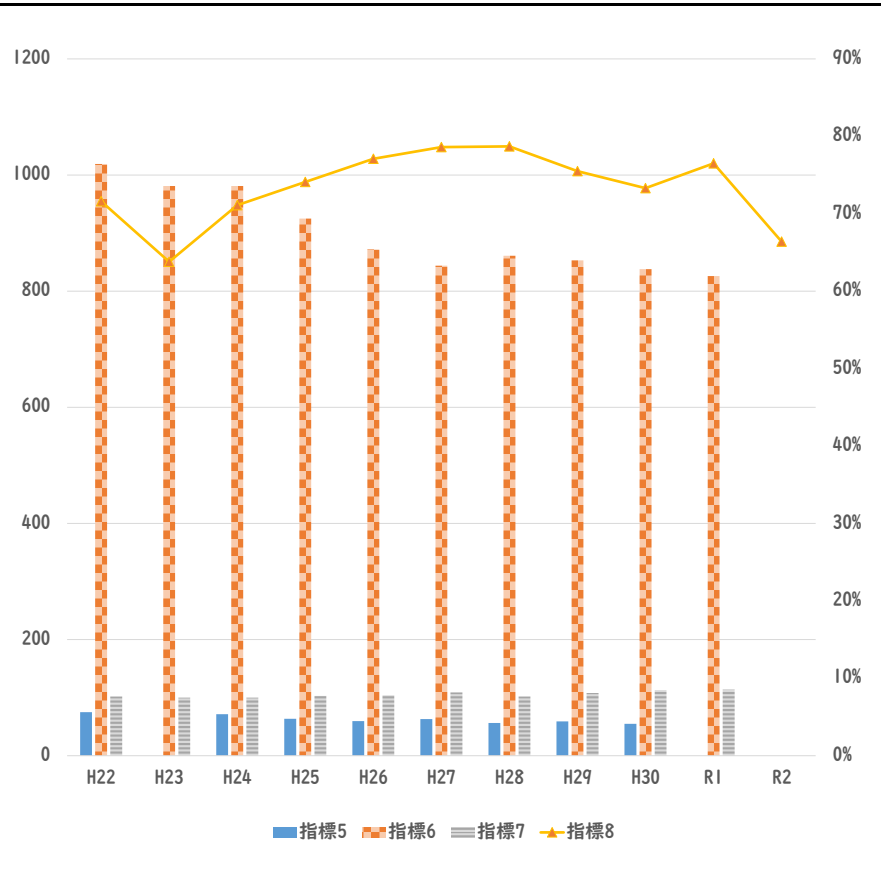
④ 地球と未来にやさしく、低炭素型社会を構築できる	取組12： 地球にやさしい生活様式を提案して、新しい経済活動に取り組む
	太陽光発電などグリーンエネルギーの利用を促進するとともに、家庭や事業所における省エネルギー活動に取り組みながら、地球に優しい生活様式を提案することにより、新しい経済活動に取り組む。
	東播磨地域ビジョン委員会
	該当なし
	行政
	東播磨地球温暖化防止活動推進事業 エコツーリズムバス活用支援 CO ₂ 見える化強化事業の実施 エコ広場サミットの開催
	検証 (指標)
	太陽光など「再生可能エネルギー」を利用する取組に参加している、または参加したいと思う人の割合(指標10) 兵庫のゆたかさ指標
	太陽光などの自然エネルギーを利用するために、費用を負担してもよいと思う人の割合(H24まで) 【H22】40.1%(2位) → 【H29】26.7%(1位) → 【H30】23.9%(5位) → 【R1】23.0%(3位) → 【R2】26.1%(3位)
	日頃から節電に取り組んでいる人の割合(指標11) 兵庫のゆたかさ指標 電気のムダ使いに気をかけるなど、環境に配慮している人の割合(H24まで) 【H22】85.0%(4位) → 【H29】80.1%(2位) → 【H30】79.1%(3位) → 【R1】77.0%(5位) → 【R2】78.1%(3位)
製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人の割合(指標12) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】63.7%(2位) → 【H29】62.0%(1位) → 【H30】55.1%(9位) → 【R1】58.6%(3位) → 【R2】52.5%(9位)	
評価	
地域ビジョン委員会で再生可能エネルギーや省エネについて特に力を入れて取り組んだグループはなかった。行政は率先した再生可能エネルギーの利用と共に、地球温暖化防止についての普及啓発を進めた。しかし環境問題への意識は低下傾向にあるため、低炭素型社会の実現に向けた意識啓発について粘り強く取り組む必要がある。	



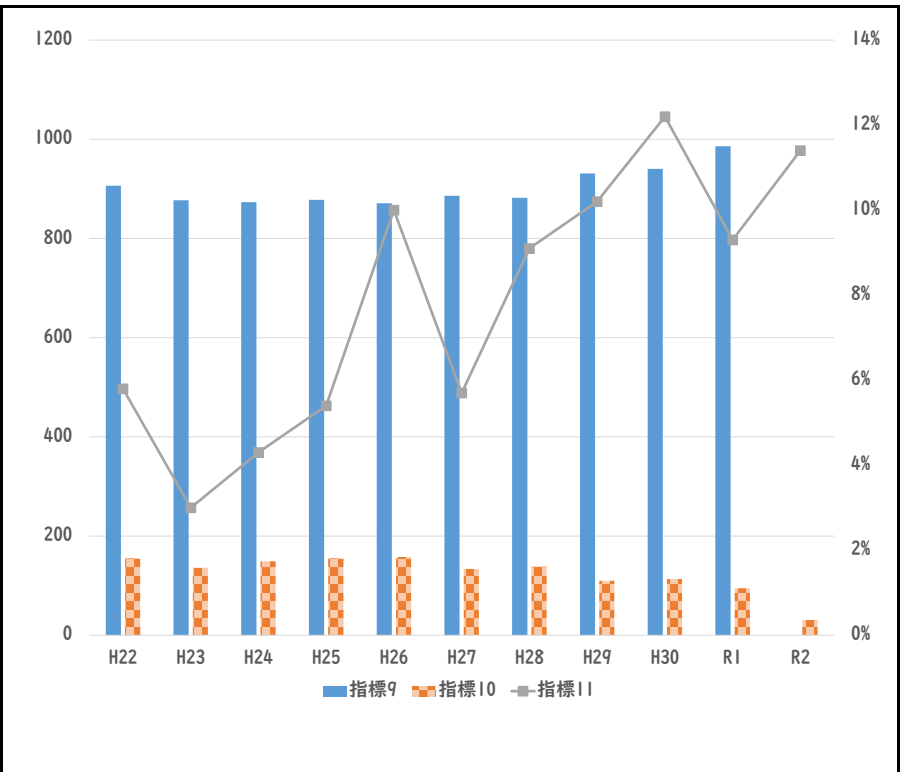
検証4 力強いまち（活力づくり）	
① 「ものづくり産業を豊かにする質の高い創造」を実現できる	取組13：産学公民、異業種間の交流により、ものづくりの活性化と地域密着型の起業を推進する
	ものづくり産業の魅力・底力の周知を図るとともに、企業と大学等の試験研究機関が持つ技術シーズとのマッチングを図ることにより、新製品・新技術の開発を促進するほか、きめ細かいサービスを提供できる地域密着型の企業を推進する。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【東播磨ものづくり応援団】 ものづくりが盛んな東播磨において、工場見学を実施することで住民と現場の距離を縮め、活性化を図った。
	【東播磨ものづくり推進部】 若者に地元就職してもらうため、地域のものづくりを知ってもらおうと、高校生の企業訪問を企画した。
	行政
	デジタルファブリケーションによる新たな「ものづくり」支援・東播磨ものづくり企業の魅力発信 「産業元気東播磨」ものづくり推進事業、新製品・新技術開発支援経営改善支援、東はりまの魅力 K I D s 体験
	検証（指標）
	製造品出荷額（指標1） 工業統計調査、経済センサス（兵庫県統計課） 【H22.12末】31,041億円 → 【H28.12末】31,304億円 → 【H29.12末】33,423億円 → 【H30.12末】36,203億円 製造業従事者数（指標2） 工業統計調査、経済センサス（兵庫県統計課） 【H22】62,293人 → 【H28】61,013人 → 【H29】64,043人 → 【H30】64,971人 → 【R1】66,208人 自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思う人の割合（指標3） 兵庫のゆたかさ指標 自分にあった職業への転職がしやすいと思う人の割合（H24まで） 【H22】2.7%（6位） → 【H29】7.9%（5位） → 【H30】9.5%（3位） → 【R1】9.0%（3位） → 【R2】10.6%（3位） 住んでいる市・町の企業には活気が感じられると思う人の割合（指標4） 兵庫のゆたかさ指標 【H27】18.0%（4位） → 【H29】22.2%（4位） → 【H30】24.7%（3位） → 【R1】23.5%（4位） → 【R2】27.1%（4位）
	評価 地域ビジョン委員会では、地域の若者にものづくりの現場を知ってもらうことで地域活性化を図った。行政では外部に向けたものづくりの情報発信や、デジタル化を進めた新たなものづくりに取り組んだ。製造品出荷額や従事者数は増加傾向にある。また、就職や転職の選択肢に対するポジティブな感情が増えている。東播磨で働く人をどう増やすか、そのために働く場としても魅力ある産業をどう育てていくかが今後の課題。



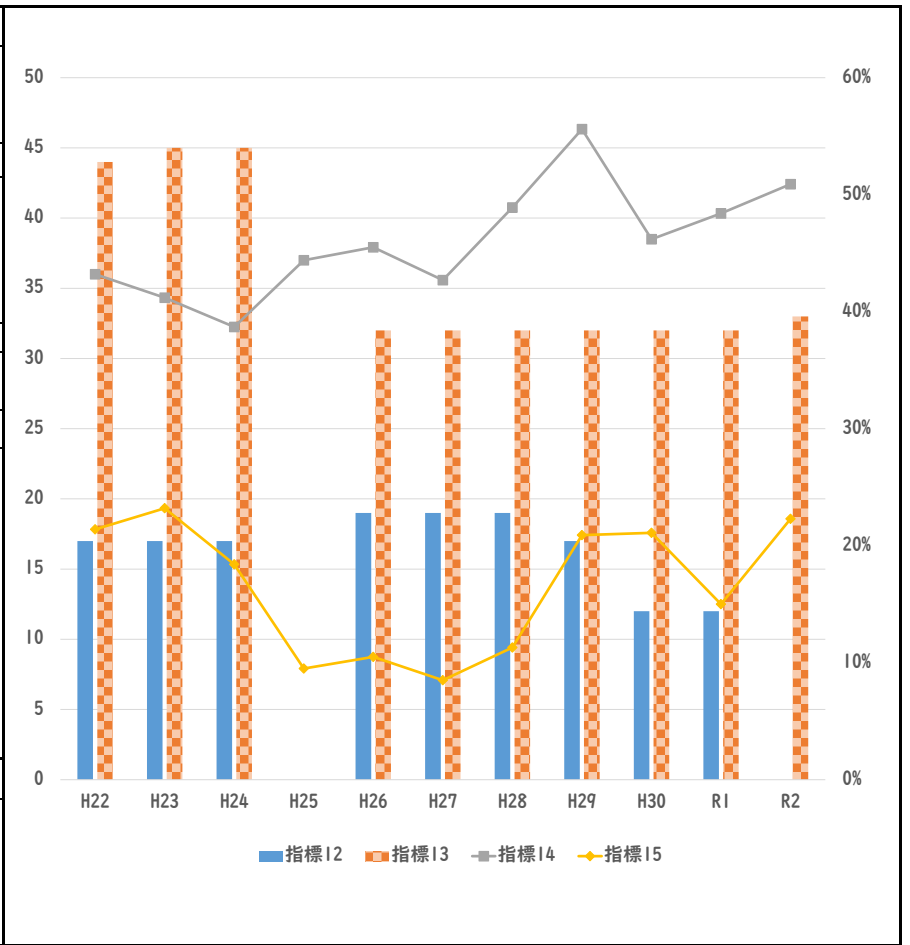
② 豊かな農 林水産 業と食 文化を 展開で きる	取組14：担い手の育成・確保に加え、豊かな農林水産資源を守り、地産地消を推進する
	農林水産業の担い手の育成・確保や食農教育により、農業や農作物の魅力を子どもや地域住民、消費者などに伝えるとともに、農に関心のある都市部住民による耕作放棄地の管理、水産資源の培養管理の推進、地域ブランド製品の開発や6次産業化による販売路開拓、直売所を拠点とした地産地消のほか、地場産品による郷土料理の発信に取り組む。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【Agri Dream&Creation】 東播磨の農業の普及のため、収穫祭や意見交換会、料理教室や大学生との交流会など、様々なイベントを実施した。
	【東播磨食の発見】 地域の食材の良さをアピールするため、料理教室を開催した。また、生産者と消費者の交流を促すことで、地産地消を推し進めた。
	行政
	東播磨「農」のブランド化大作戦、新たな水産物増養殖チャレンジ事業 新規就農者の育成・確保、東播磨の農業経営力アップ事業、都市農業元気アップ事業
	検証(指標)
	農産物産出額(指標5) 第67次兵庫農林水産統計年報 【H22】74.9億 → 【H27】63.1億 → 【H28】56.5億 → 【H29】59.0億 → 【H30】54.9億 漁業者数(正組合員)(指標6) 漁協生組合員数 【H22】1,019人 → 【H28】861人 → 【H29】853人 → 【H30】838人 → 【R1】826人 認定農業者数(指標7) 兵庫県農政環境部農業経営課調べ 【H22】102経営体 → 【H28】102経営体 → 【H29】108経営体 → 【H30】113経営体 → 【R1】114経営体 地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合(指標8) 兵庫ゆたかさ指標 【H22】71.6%(3位) → 【H29】75.5%(6位) → 【H30】73.3%(5位) → 【R1】76.5%(3位) → 【R2】66.4%(7位)
	評価 地域ビジョン委員会は料理教室などを通じて地域の生産者と消費者の交流を進めた。 行政は農林水産物の質や量をも高める取組がおこなったほか、新規就農者の確保・育成を進めた。 農産物出荷額や漁業者数は年々減少している。農林水産業の体質強化とネットワーク化による活力強化が必要。



る ③ 交 流 を 促 す 基 盤 と 拠 点 を 整 備 し、 多 彩 な ネ ッ ト ワ ー ク を 構 築 で き	取組15：地域の新しい交流拠点や自転車を活用したツーリズムルートを提案する
	東播磨地域が交通の要衝地であることを生かし、テーマ別（B級グルメ、映画ロケ地、国宝巡り等）の広域ツーリズムルートを設定するとともに、比較的平坦な地形であるメリットを生かして、広域的な自転車ツーリズムを推進する。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【歌声列車の会】 JR加古川線の利用促進と沿線の活性化のために、車両を貸し切って「歌声列車」を走らせた。
	【輪友ネット】 サイクリングマップの普及・啓発のため、加古川土木事務所と協力してサイクリングマップを作成した。
	行政
	加古川魅力あるまちづくり推進事業の支援、東播磨ツーリズムモデルルートマップの作成 自転車ネットワーク計画、外国人ツーリストの東播磨への誘客促進
	検証（指標）
	観光客入込数（指標9） 兵庫県観光客動態調査（兵庫県観光交流課） 【H22年度】906万人 → 【H29年度】931万人 → 【H30年度】940万人 → 【R1】985万人 県立考古博物館入館者数（指標10） 県立考古博物館調べ 【H22】155千人 → 【H29】110千人 → 【H30】113千人 → 【R1】116千人 → 【R2.11末】31千人 住んでいる市・町では、観光などの訪問客が増えていると思う人の割合（指標11） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】5.8%(10位) → 【H29】10.2%(10位) → 【H30】12.2%(9位) → 【R1】9.3%(10位) → 【R2】11.4%(9位)
	評価
地域ビジョン委員会では公共交通を利用した取組や、行政と協力して自転車の利用を進める取組がおこなわれた。 行政では自転車を様々な形で浸透させる取組がおこなわれた。 観光客数は若干の増加が見られるが、考古博物館の来客は減少している。 地域での観光資源の磨き上げや、移動環境の充実に取り組む必要がある。	



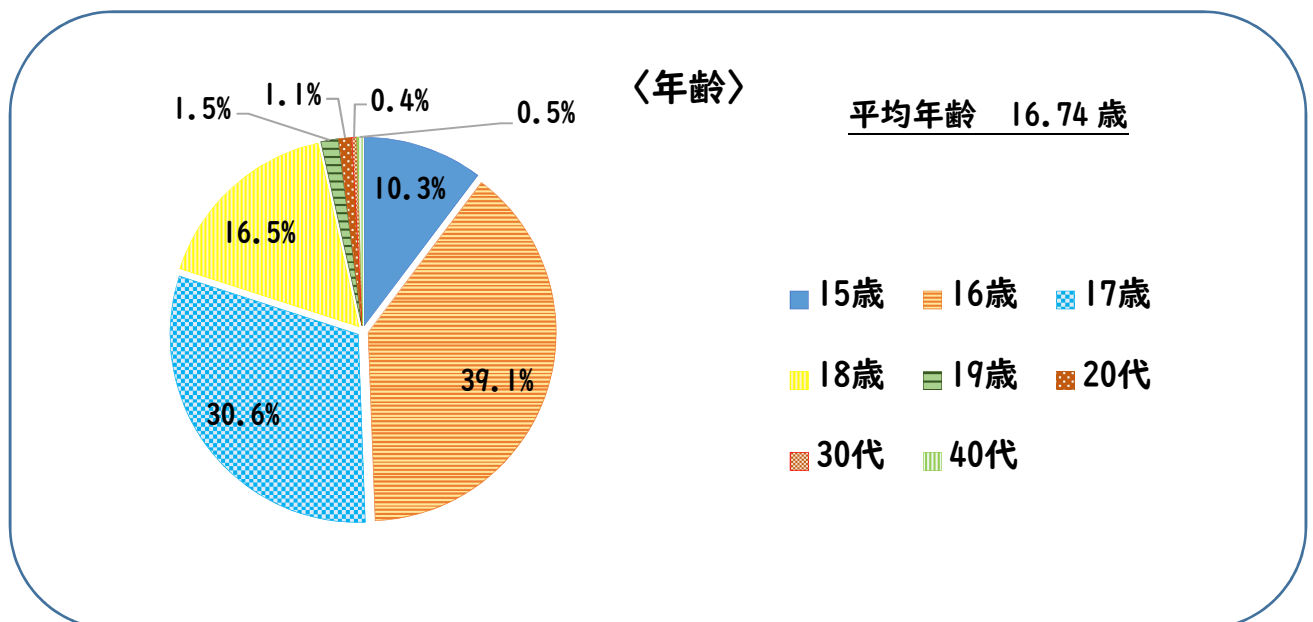
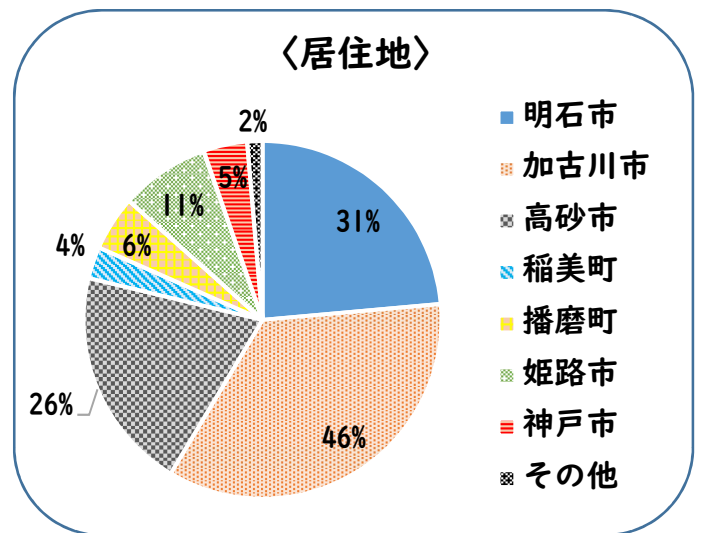
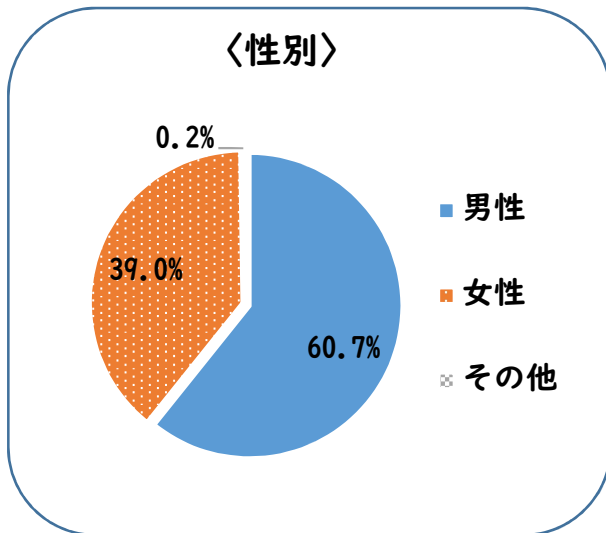
④ 人・もの・情報が交流し、魅力とにぎわいを生み出せる	取組16：東播磨の新しい魅力の再発見とにぎわいづくりに取り組む
	東播磨ゆかりの歴史、風習、人物、産業、グルメ等の観点から、埋もれている東播磨の地域資源を掘り起こし、既存又は新しい地域資源とつなぐことにより、新しい魅力を発信するとともに、商店街における空き店舗利用者への支援、中心市街地内を回遊できる仕掛けづくりなどのにぎわいづくりに取り組む。
	東播磨地域ビジョン委員会
	【ふるさと見せ隊・知らせ隊】 地域の名所を巡るツアーを企画することで地元愛を醸成し、賑わい溢れる東播磨をめざした。
	【らくがく倶楽部】 豊かな文化を育てるために、地域の文化施設と人のネットワークの強化を図り、文化施設のコラボイベントや施設の相互訪問を実施した。
	行政
	商店街の活性化、東播磨魅力再発見による交流の促進 中心市街地活性化への支援、B-1グランプリ全国大会出場支援事業
	検証（指標）
	産業ツーリズム施設件数（指標12） ひょうごツーリズム協会調べ 【H22】17箇所 → 【H28】19箇所 → 【H29】17箇所 → 【H30】12箇所 → 【R1】12箇所 国指定文化財の数（指標13） 兵庫県教育委員会事務局文化財課調べ 【H22】44箇所 → 【H29】32箇所 → 【H30】32箇所 → 【R1】33箇所 住んでいる市・町には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合（指標14） 兵庫のゆたかさ指標 自慢したい地域の風景や名所がある人の割合（H24まで） 【H22】43.2%（9位） → 【H29】55.6%（4位） → 【H30】46.2%（3位） → 【R1】48.4%（6位） → 【R2】50.9%（8位） 住んでいる市・町の駅前や商店街に、活気が感じられると思う人の割合（指標15） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】21.4%（4位） → 【H29】20.9%（5位） → 【H30】21.1%（5位） → 【R1】15.0%（5位） → 【R2】22.3%（5位）
	評価
地域ビジョン委員会は、地域の施設の活性化や、住民への情報発信などをおこなった。 行政は地域資源の発掘や人の交流を進めた。 指定文化財などの施設数は減少したが、地域資源の存在を認識する人の割合は増加している。また、地域に活気を感じる人の割合は減少している。地域の活力に繋がる商店街の再生と、地域資源の掘り起こしによる新しい地域の魅力づくりが必要。	



(東播磨地域に暮らす・通勤する・通学する)

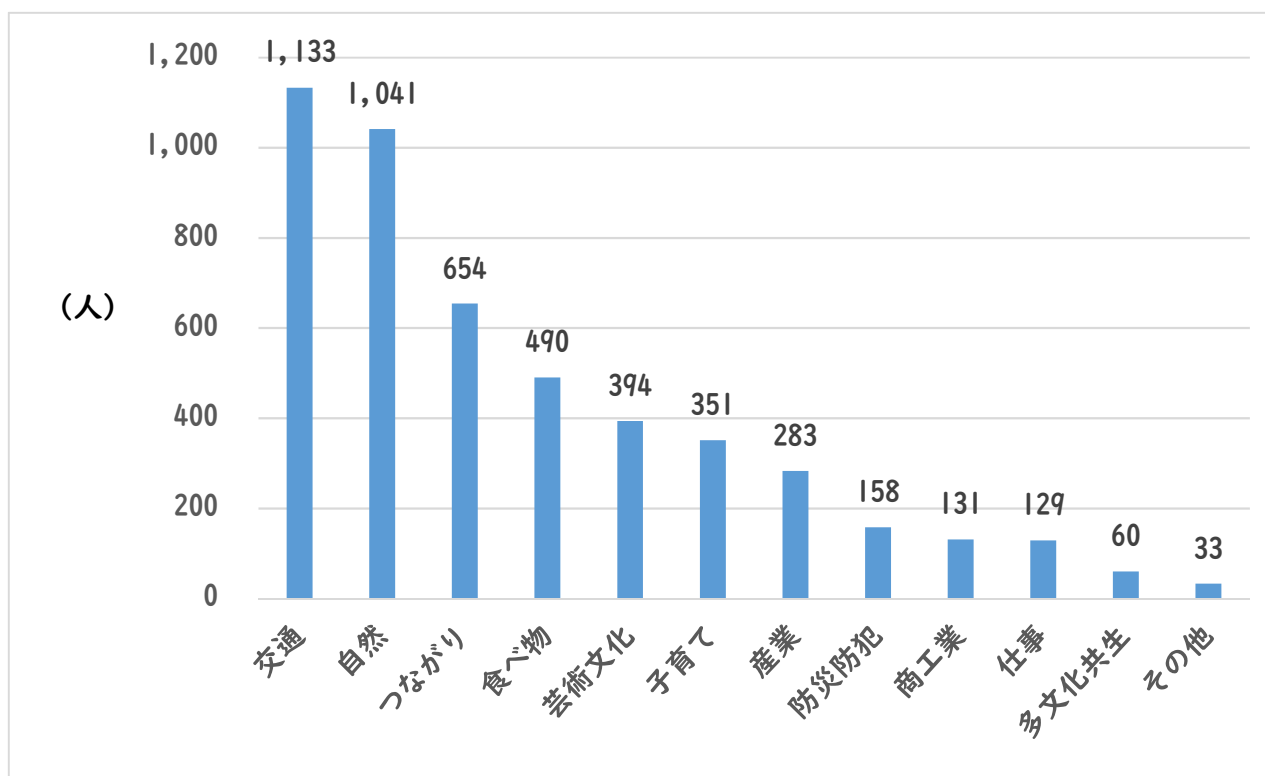
若者アンケート 調査結果 (概要)

アンケート回答者の属性



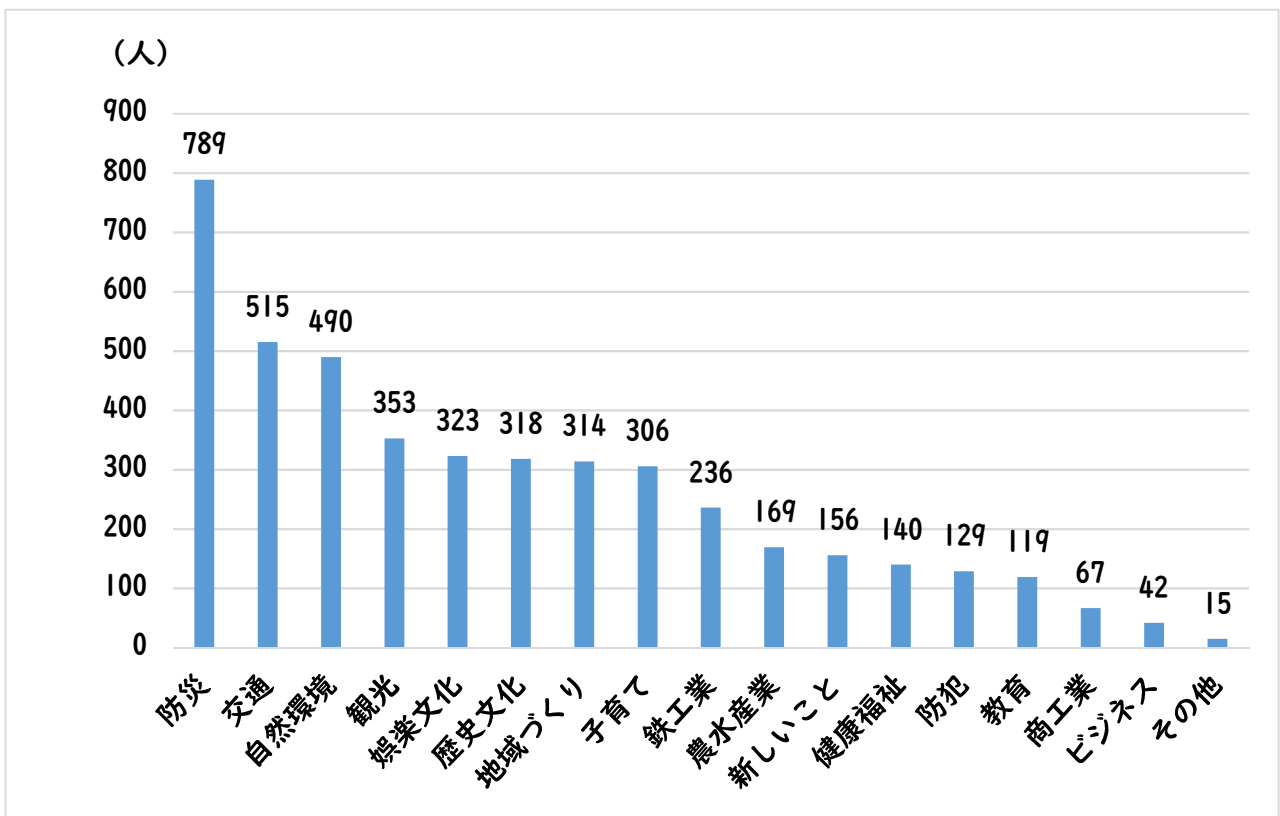
問1 東播磨地域に住んでいて（または通勤・通学して）良かったと思うことは、どのようなことですか（3つまで回答）

交通が便利であること	1133人
自然が豊かであること	1041人
地域での人と人とのつながりがあること	654人
地元産のおいしい食べ物が多いこと	490人
芸術文化や祭りが充実していること	394人
子育て環境や教育環境が優れていること	351人
鉄鋼や重工業、農業など力強い産業があること	283人
防災対策や防犯対策がしっかりとしていること	158人
商工業が充実していること	131人
仕事をしやすい環境であること	129人
多文化共生が進んでいること	60人
その他	33人



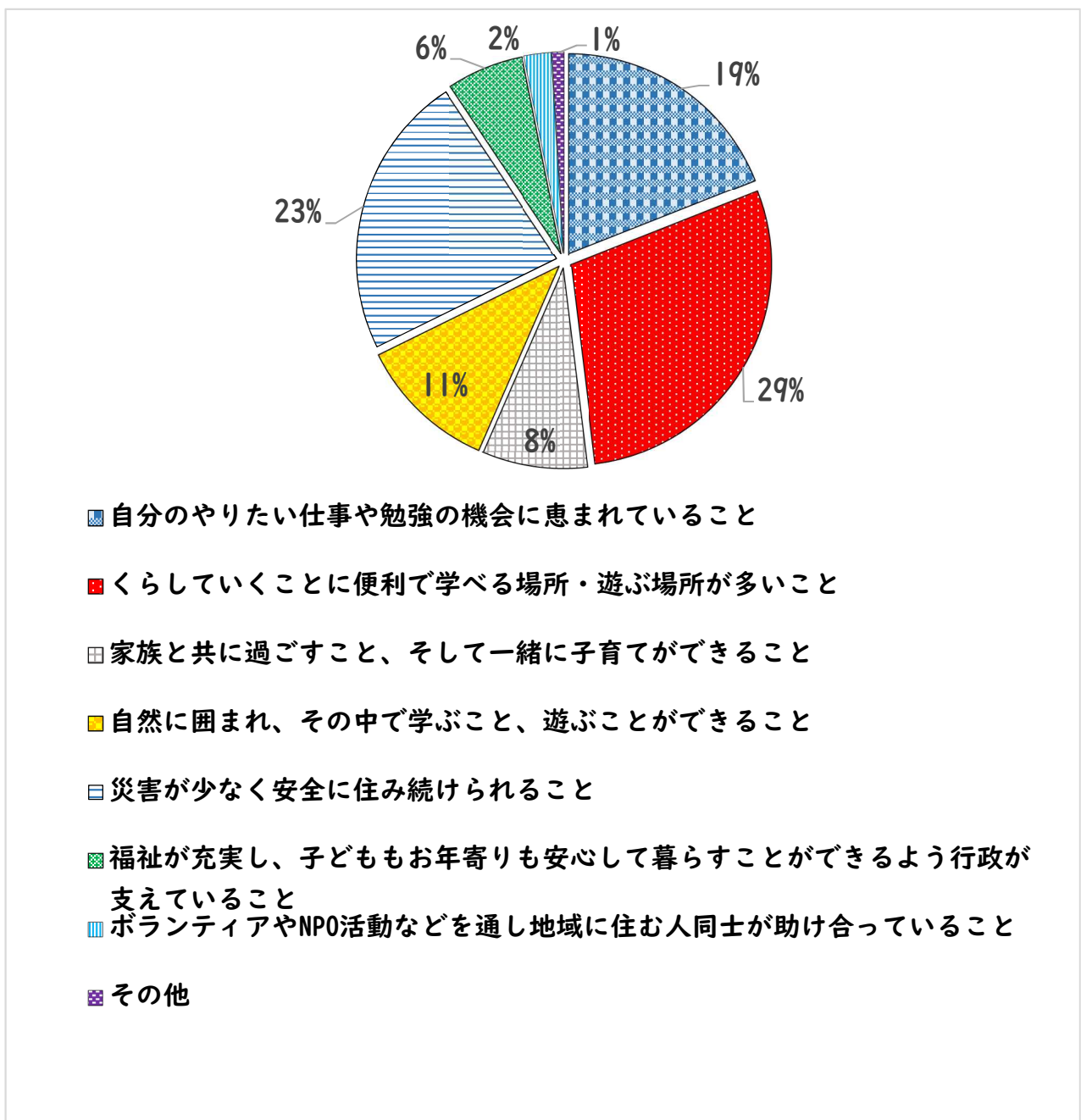
問2 あなたが思う東播磨地域の魅力はどのようなことですか（3つまで回答）

災害が少ないこと	789人
鉄道やバス、道路などの交通インフラが充実し、移動に便利なこと	515人
自然環境が豊かであること	490人
観光客を魅了する名物やイベント、観光場所があること	353人
娯楽や文化に関する施設が多いこと（例：明石市立天文科学館、考古学博物館）	323人
歴史文化が豊かであること	318人
地域づくりへ参加する機会が多いこと	314人
子育て支援策が充実していること	306人
鉄鋼や重工業が盛んであること	236人
農業・水産業が盛んであること	169人
地域で新しいことが日々行われていること	156人
高齢者の健康づくりや子育て支援などの健康・福祉活動が盛んであること	140人
防犯活動などで安全・安心なまちづくりが進んでいること	129人
教育に熱心であり、教育機関が多いこと	119人
商工業が充実していること	67人
ビジネス活動が盛んであること	42人
その他	15人



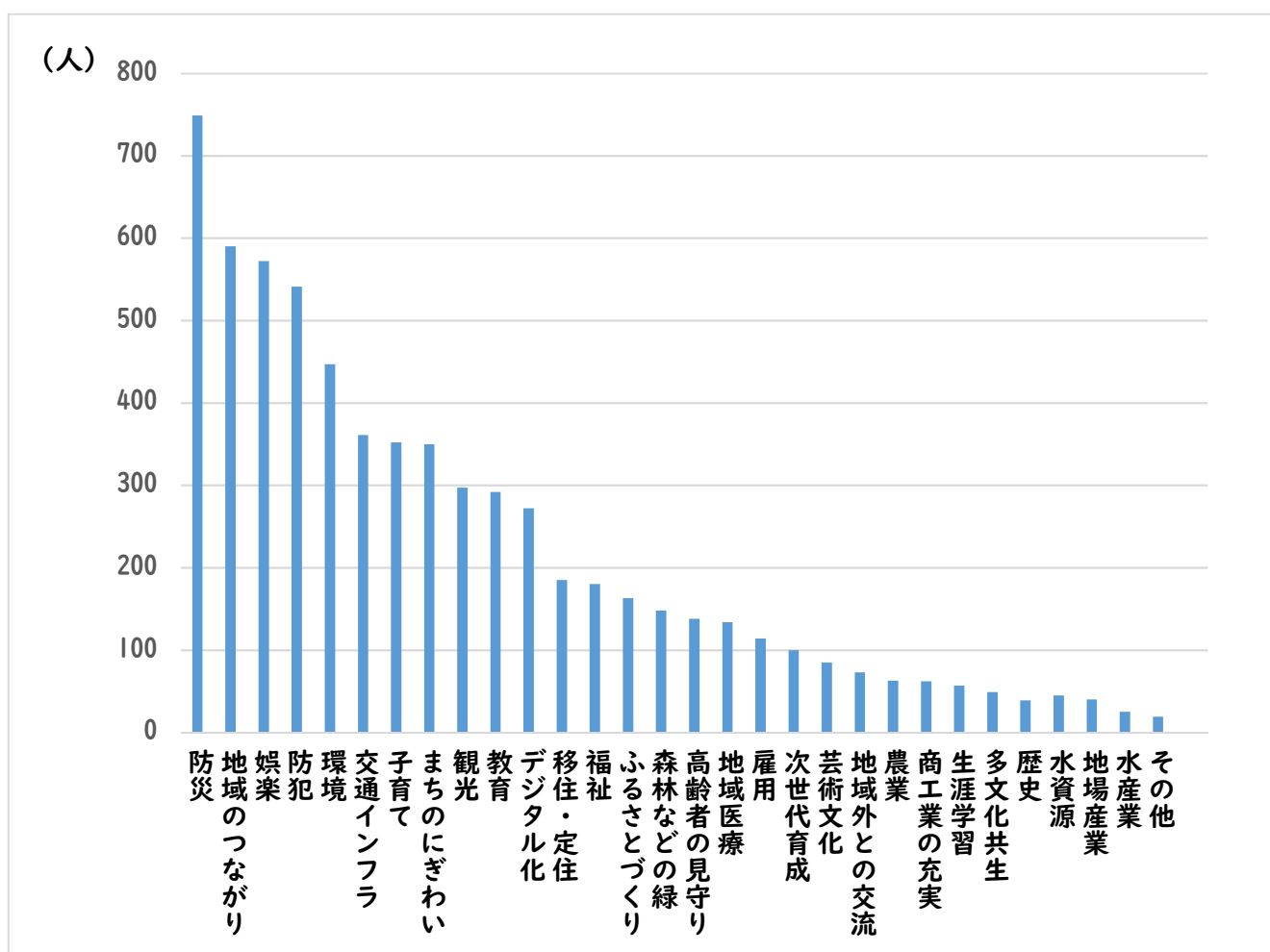
問3 現時点で、あなたが思う東播磨地域の理想の姿はどのようなものですか？

自分のやりたい仕事や勉強の機会に恵まれていること	438人
くらししていくことに便利で学べる場所・遊ぶ場所が多いこと	670人
家族と共に過ごすこと、そして一緒に子育てができること	195人
自然に囲まれ、その中で学ぶこと、遊ぶことができること	258人
災害が少なく安全に住み続けられること	529人
福祉が充実し、子どももお年寄りも安心して暮らすことができるよう行政が支えていること	143人
ボランティアやNPO活動などを通し地域に住む人同士が助け合っていること	51人
その他	21人



問4 問3で答えて頂いた理想の姿に必要なキーワードはどれですか。

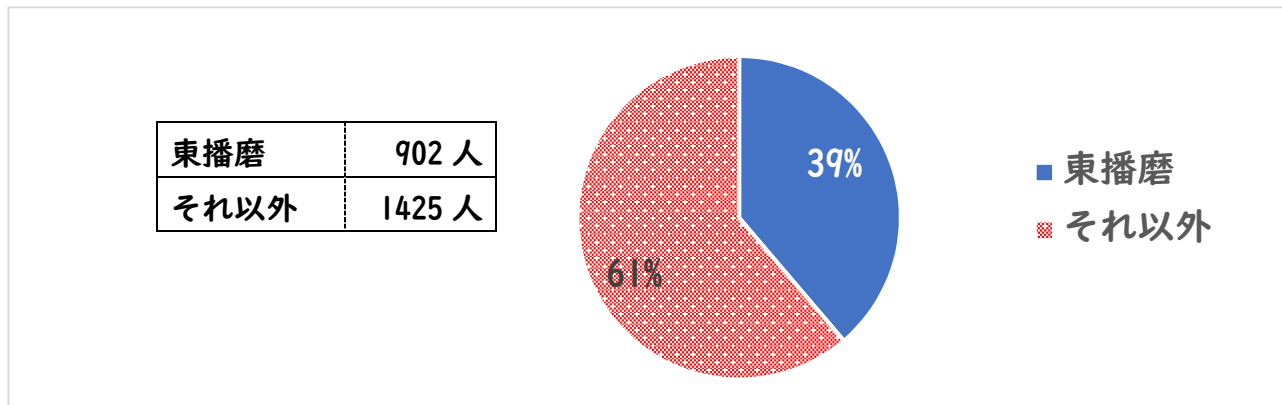
防災	749人	高齢者の見守り	138人
地域のつながり	590人	地域医療	134人
娯楽	572人	雇用	114人
防犯	541人	次世代育成	100人
子育て	352人	芸術文化	85人
まちなぎわい	350人	地域外との交流	73人
環境	447人	農業	63人
交通インフラ	361人	商工業の充実	62人
観光	297人	生涯学習	57人
教育	292人	多文化共生	49人
デジタル化	272人	水資源	45人
移住・定住	185人	地場産業	40人
福祉	180人	歴史	39人
ふるさとづくり	163人	水産業	25人
森林などの緑	148人	その他	19人



次に、30年後の「あなた」を想定してお答えください。

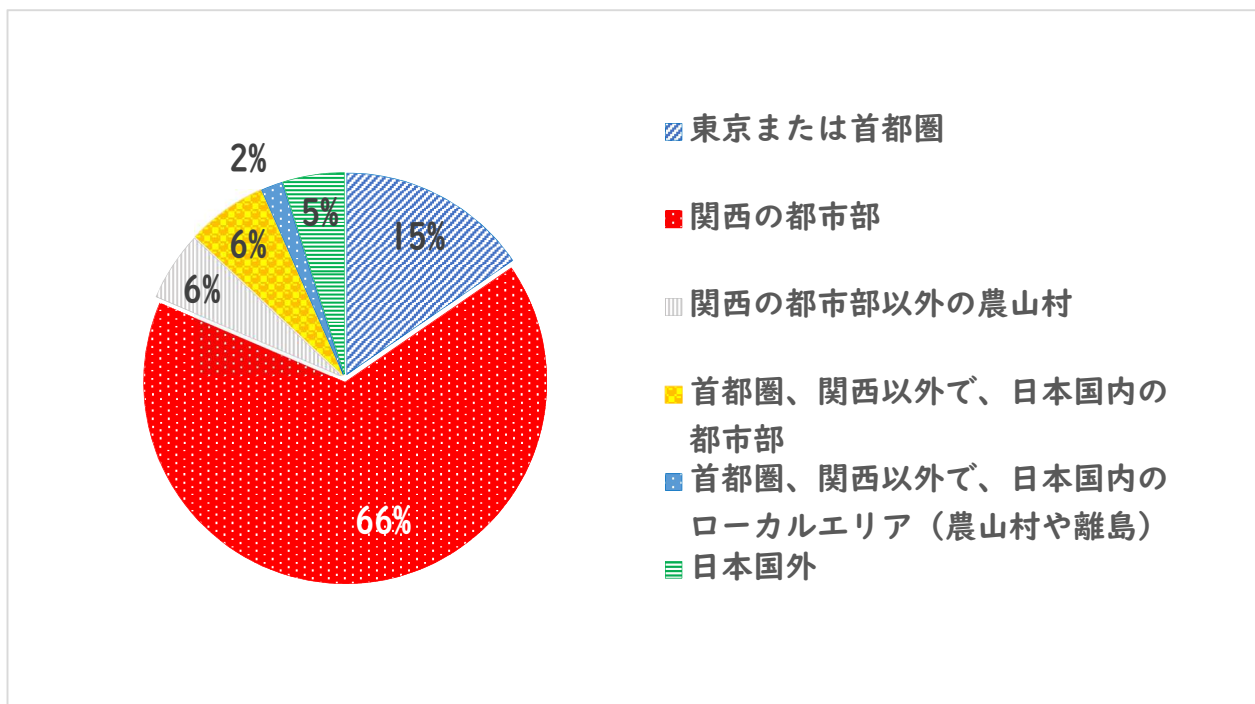
問5 30年後、あなたが生活をし、また働いている場所はどこですか？

もし、生活する場所と働く場所が異なる場合は、生活する場所を念頭にご回答ください。



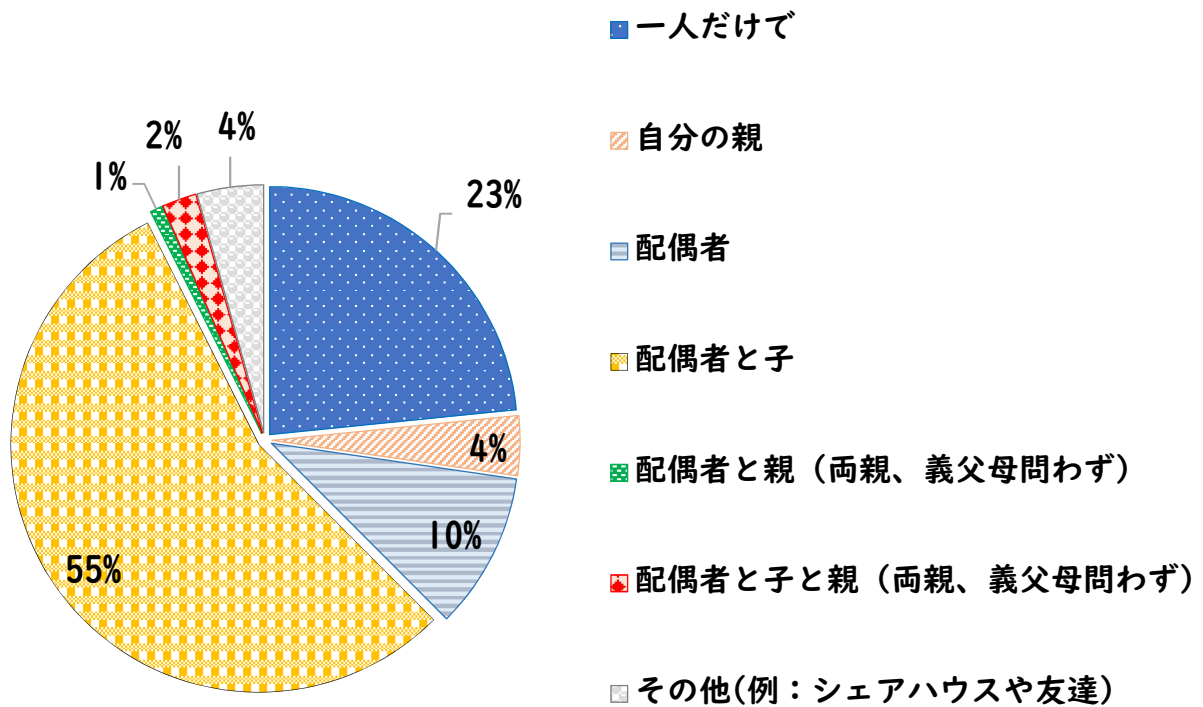
問6 問5で、「それ以外」を選んだ方にお聞きします。どこで生活をし、また働いていますか。

東京または首都圏	225人
関西の都市部	963人
関西の都市部以外の農山村	81人
首都圏、関西以外で、日本国内の都市部	93人
首都圏、関西以外で、日本国内のローカルエリア（農山村や離島）	25人
日本国外	72人



問7 30年後、あなたは誰と一緒に暮らしていますか？

一人だけで	541人
自分の親	90人
配偶者	236人
配偶者と子	1273人
配偶者と親（両親、義父母問わず）	19人
配偶者と子と親（両親、義父母問わず）	52人
その他(例：シェアハウスや友達)	100人

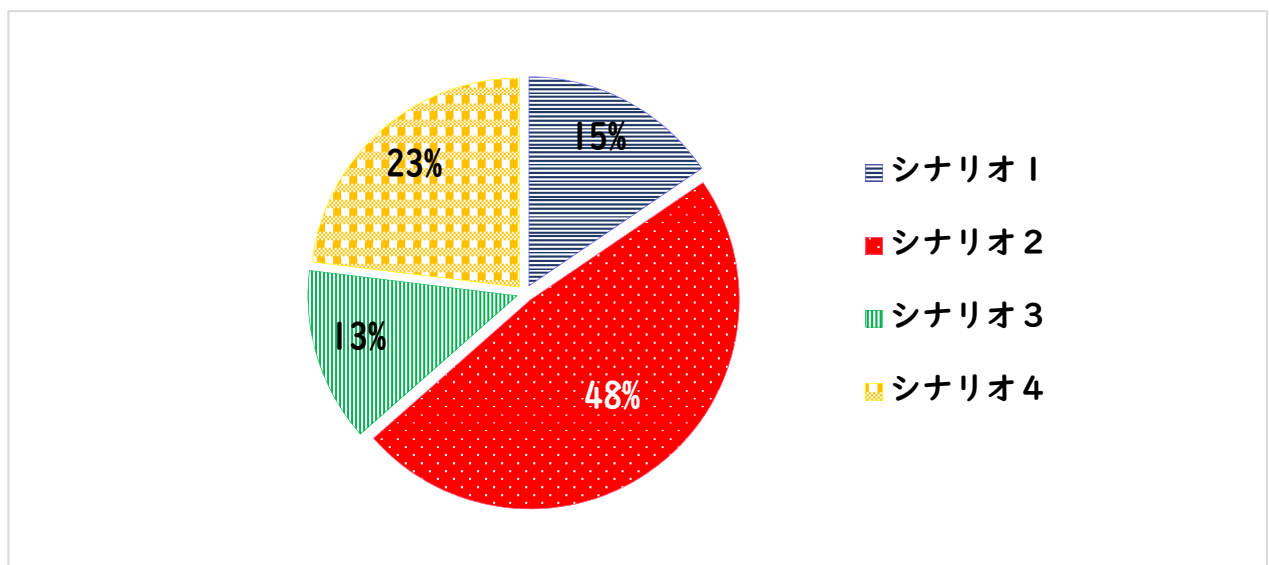


東播磨地域の 30 年後の姿について考えてください。

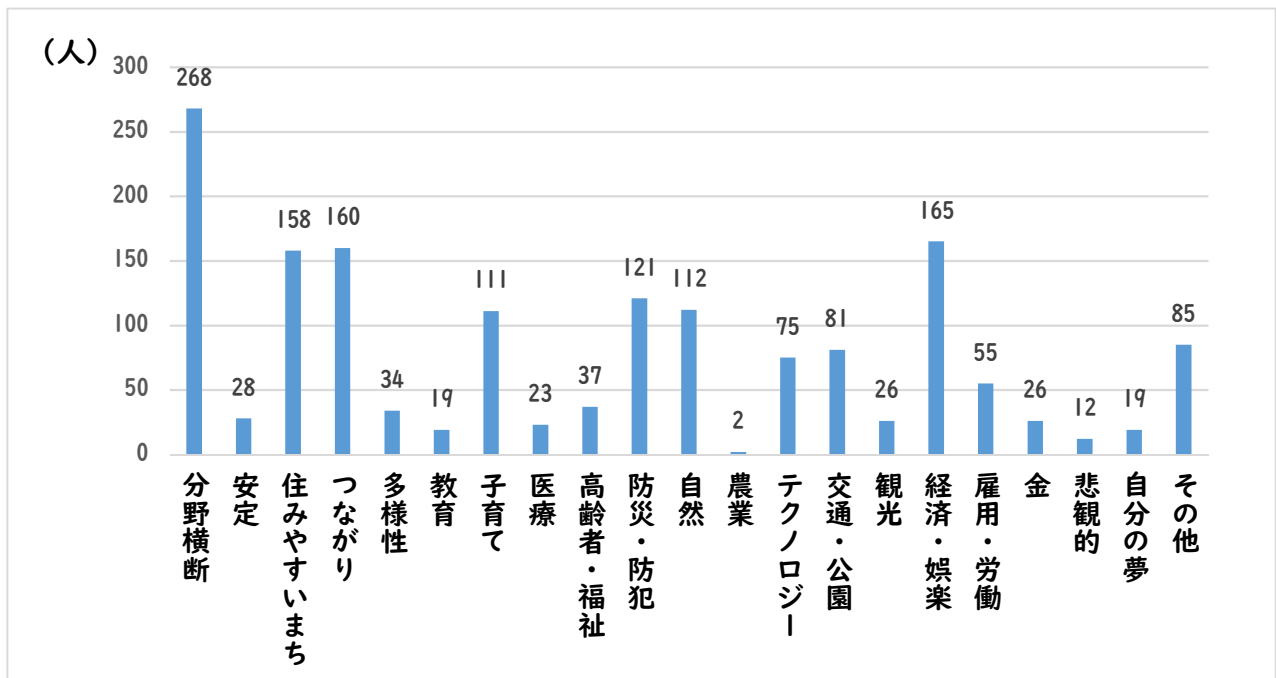
次のシナリオ 1～4 は、AI が東播磨の 30 年後を想定した姿を描いたものです。

問 8 - 1 30 年後、東播磨地域はどのような姿になっていると思いますか

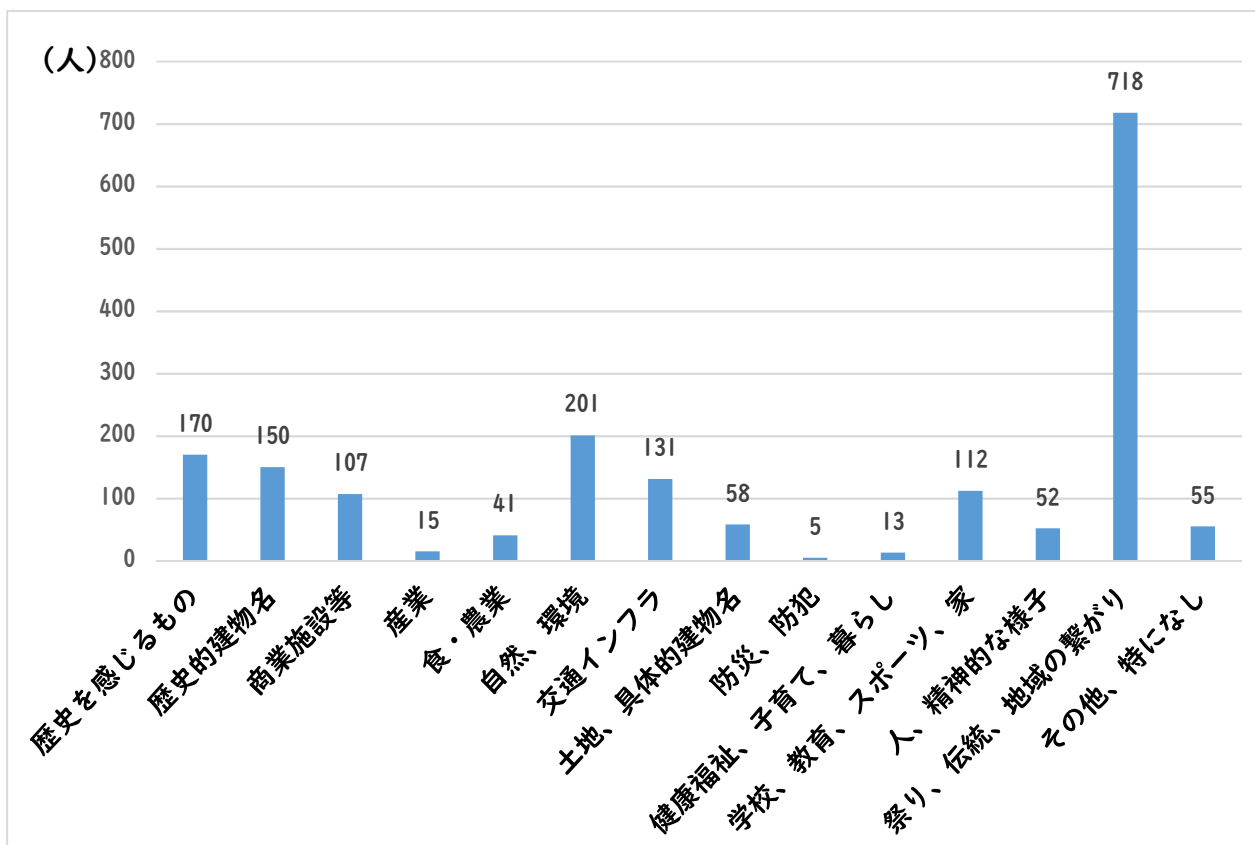
シナリオ 1 経済成長を重視。活力ある新産業都市。労働力が不足気味。利便性は高くはないが新たな職を求めて人が集まる。生活基盤の整備が遅れ気味で、子育てには向かない。自分中心主義、長時間労働など労働環境は悪化。格差拡大の懸念。	270 人
シナリオ 2 くらしやすいまちづくりを重視。住宅地域。高齢者も含む様々な家族が住む。経済はあまり成長しないが、保育所は充実していて子育てがしやすい。出生率も高く子どもも多い。地域内には福祉施設や福祉関連産業などの就職口が多く、地元で勤める人が多いが、パートなどで給与は低い。	836 人
シナリオ 3 商工業の充実を重視。商工業地域。中小企業が多く所得は必ずしも高くない。歓楽街もあり、外国人を含め多くの人が集まる。家族や地元の仲間を大切にする中高年が多い。ただしその子ども達は真剣に学び、できれば他の地域に移って結婚、子育てをしたいと願っている。	234 人
シナリオ 4 多世代の共生を重視。郊外地域。男女共同参画が進み、祖父母を含めた多世代での子育てが増え、出生率も回復している。高齢者の雇用も多い。穏やかな雰囲気を好む外国人も多く居住。所得が高くゆとりある生活が可能。住宅地で緑は少ない。文化活動が盛ん。	402 人



問8-2 あくまで前項（問8-1）の4つのシナリオはAIが考えた30年後の姿です。30年後にみなさんが夢見る、みなさんがこうしたい理想の姿を自由に書いてください。AIを超えましょう！！



問9 30年後でも、東播磨地域に残ってほしいものは何ですか



新しいビジョン策定に向けた検討経過

I 東播磨新地域ビジョン検討委員会会議

	開催日	内容
第1回	令和2年6月17日	新ビジョン策定について 方向性について
第2回	令和2年8月18日	想定年次について 検証について
第3回	令和2年10月26日	新ビジョンの描き方・進め方について アンケート内容・作成について
第4回	令和2年12月24日	兵庫県将来構想試案(案)説明
第5回	令和3年7月6日	部会における検討結果について
第6回	令和3年8月31日	骨子案・本体案について
第7回	令和3年11月8日	本体案について
第8回	令和4年2月(予定)	最終案について(予定)

○課題解決部会 会議

時期	内容
令和3年3月22日	課題解決・改善の方向性等に関する協議
令和3年4月28日	現状と課題・取り組みの方向性等に関する協議①
令和3年5月25日	現状と課題・取り組みの方向性等に関する協議②

○未来デザイン部会 会議

時期	内容
令和3年3月9日	将来像・方向性の協議 (若者アンケート調査結果、ビジョンを語る会提案、高校生による提案活用、東播磨地域の将来像に関するアンケート調査結果、兵庫県将来構想試案資料等)
令和3年4月13日	理念、将来像、方向性、取組等に関する協議①
令和3年5月13日	理念、将来像、方向性、取組等に関する協議②

2 県民参加による意見交換

令和2年度 ビジョンを語る会

開催日	参加者
令和2年9月8日	高砂商工会議所青年部
令和2年9月11日	若手事業家
令和2年9月17日	農業協同組合（明石、兵庫南、加古川南）
令和2年12月11日	高砂商工会議所メンバー
令和2年12月25日	東播磨地域若手経営者

令和3年度 ビジョンを語る会

開催日	参加者	テーマ
令和3年6月29日	東播磨高校特色類型1年生	東播磨地域を知る
	東播磨高校特色類型2年生	東播磨地域探究

地域デザイン会議(提案発表の活用)

開催日	参加者	テーマ
令和2年10月21日	県立播磨南高等学校	播磨町のまちづくり探究
令和2年11月12日	県立東播工業高等学校	わたしたちが考えるハリマのみち
令和2年11月16日	県立東播磨高等学校	探究グループとの意見交換会
令和2年12月23日	県立加古川東高等学校	加古川市の地域デザインを考えよう
令和3年1月13日	県立農業高等学校	「ひょうごの農」に提案する会

東播磨地域未来フォーラム

開催日	テーマ
令和3年8月8日(令和2年度分)	未来をつくるのはあなたです
令和3年11月20日(予定)	2050年東播磨地域の未来について

東播磨地域ビジョン検討委員会委員

(任期：令和2年5月18日～令和4年3月31日)

氏名	役職名	備考
田端 和彦	兵庫大学 副学長 東播磨地域ビジョン専門委員	委員長
瀧本 眞一	兵庫大学 名誉教授 第9期東播磨地域ビジョン委員長 東播磨地域ビジョン専門委員	
相川 康子	NPO 政策研究所 専務理事 東播磨地域ビジョン専門委員	
和田 真理子	兵庫県立大学 准教授 東播磨地域ビジョン専門委員	
富木 攻	富木営農組合組合長、富木地区環境保全協議会会長、東播磨地域ビジョン委員OB	
畠山 恵子	兵庫県地球温暖化防止活動推進員東播磨地域連絡会会長、東播磨地域ビジョン委員OB	
大川 保	第10期東播磨地域ビジョン委員会委員長	
西本 祐子	第10期東播磨地域ビジョン委員会副委員長	
小林 大輔	第10期東播磨地域ビジョン委員	
明石市	政策局 SDGs 推進室	
加古川市	企画部政策企画課	
高砂市	政策部経営企画室企画課	
稲美町	経営政策部企画課	
播磨町	企画グループ	

用語解説

	用語	説明
あ行	アナログツール	紙やペンなど、電子機器を用いない道具。
	インキュベーション	事業の創出や創業を支援するサービス・活動のこと。「incubation」は、卵をかえす「孵化」という意味。新たなビジネスを始めようとしている人や起業に対し、不足する資源（資金、オフィス、ソフトなど）を提供し、その成長を促進することを目的とするビジネスで、主に株式などを対価として支援を行う。
	インクルーシブ防災	災害時に障がい者や高齢者を含め誰も取り残さず、あらゆる人を受け入れるという国連防災世界会議で示された考え方。
	インタープリター	自然学校やエコツアーなどで、自然の大切さや素晴らしさを参加者に伝える人。インタープリター（interpreter）とは、通訳者、解説者という意味だが、単に地域に生息する植物や野生動物に詳しいというだけではなく、地域の文化や歴史、さらにはそれらの背後に潜む意味や関係性にいたるまで精通していることが前提。
	遠隔診療	自宅や外出先などからスマホやパソコン、タブレットなどを利用して遠距離でも病院の診察・処方を受けられる診療方法。
	オフショア業務	海外に全部、または一部の業務を委託すること。通信費や人件費を削減できるのが利点だが、品質の低下や、言葉の違いによりコミュニケーションが取りづらいなど、問題面もある。
	オンデマンドバス	路線バスのような既定の経路や時刻表がない予約型のバス
	オーガナイザー	組織者。設立者。主催者。
か行	海底耕耘	船でロープに結んだ鉄製器具を引っ張り、海底の堆積物をかき混ぜて、硬くなった土や泥、砂を掘り起こす環境改善の手法。堆積物に含まれている窒素やリンなどの「栄養塩」が海に放出されることで、生物が生息しやすくなる。ノリの色落ちやイカナゴのシンコ(稚魚)の不漁の原因とされる海の栄養不足対策として、兵庫県内では2004年から瀬戸内の漁協で試験的に始まり、08年から本格化。18年には全国トップとなる延べ約2300隻が作業に当たるなど、力を入れている。
	カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。 2020年10月第203回臨時国会の所信表明演説において菅内閣総理大臣が「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

	関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉。地方圏は、人口減少・高齢化により、地域作りの担い手不足という課題に直面しているが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されている。
	クラウドサービス	従来は利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアを、ネットワーク経由でサービスとして利用者に提供するもの。利用者側が最低限の環境（パソコンや携帯情報端末などのクライアント、その上で動く Web ブラウザ、インターネット接続環境など）を用意することで、どの端末からでも、さまざまなサービスを利用することが可能となる。これまで、利用者はコンピュータのハードウェア、ソフトウェア、データなどを、自身で保有・管理し利用していたがクラウドサービスを利用することで、これまで機材の購入やシステムの構築、管理などにかかるとされていたさまざまな手間や時間の削減をはじめとして、業務の効率化やコストダウンを図れるというメリットがある。
	グリーンスローモビリティ	「①時速 20km 未満」で公道を走ることが出来る「②電動車を活用した「③小さな移動サービス」であり、その車両も含めた総称。
	ゲリラ豪雨	一部の地域で短い時間に大雨となること。気象用語では「局地的大雨」と言う。急速に発達した積乱雲によってもたらされ、晴れた夏の日の夕方に発生することが多い。予測が難しい現象である一方、降り方によっては大きな被害をもたらす恐れもある。
	コージェネレーションシステム	コージェネレーション（熱電併給）は、天然ガス、石油、LP ガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム。回収した廃熱は、蒸気や温水として、工場の熱源、冷暖房・給湯などに利用でき、熱と電気を無駄なく利用できれば、燃料が本来持っているエネルギーの約 75～80%と、高い総合エネルギー効率を実現可能となる。
	コミュニティビジネス	地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むもの。地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与するものと期待されている。
さ行	シェアリングエコノミー	場所、乗り物、モノ、人、お金などの遊休資産をインターネット上のプラットフォームを介して個人間で貸借や売買、交換、共有することで資源を有効活用していく新しい経済の動き。
	シェアリングサービス	物品を多くの人と共有したり、個人間で貸し借りをしたりする際の仲介を行うサービスの総称。自動車・自転車・空き部屋の個人的な貸借

	手続きが手軽に行えるスマートホン向けサービスなどがある。
シビックプライド	まちへの「誇り」「愛着」「共感」をもち、「まちのために自ら関わっていこうとする気持ち」のこと。「都市に対する市民の誇り」という概念で使われることが多い。日本の「郷土愛」といった言葉と似ているが、単に地域に対する愛着を示すだけではない。「シビック（市民の／都市の）」には権利と義務を持って活動する主体としての市民性という意味がある。
重厚長大型産業	鉄鋼や造船などに代表される基礎的産業。原材料大量消費型かつ大規模立地型の特性をもつ。
シンギュラリティ	英語で「特異点」の意味。「人口知能(AI)」が人類の知能を超える転換点(技術的特異点)、またはそれにより人間の生活に大きな変化が起こるといった概念のこと。
水平リサイクル	回収したプラスチックを細かく砕いて洗浄し、もとの容器と同じ用途で使う方法。主にペットボトルで活用されており、「ボトル to ボトル」と呼ばれる。
スタートアップ	革新的なアイデアや独自性で新たな価値を生み出し、社会にインパクトを与える企業のこと。短時間のうちに急激な成長とイクジット（ベンチャービジネスや企業再生などにおいて、創業者やファンドが株式を売却し、利益を手にする）を狙うこと。
スマートグリッド	電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる次世代送電網。専用の機器やソフトウェアが、送電網の一部に組み込まれている。ただその定義は曖昧で、いわゆる「スマート＝賢い」をどの程度に考えるかは明確ではない。
スマートシティ構想	ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域であり Society 5.0の先行的な実現の場。
スマート農業	ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業のこと。 ロボットトラクター、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用による「作業の自動化」、位置情報と連動した経営管理アプリの活用により作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能になる「情報共有の簡易化」、ドローン・衛生によるセンシングデータや気象データのAI解析での「データの活用」により農作物の生育や病虫害を予測し高度な農業経営が可能になるなど、様々な効果がある。
生分解プラスチック	プラスチックの一種で、自然界において微生物が関与して環境に悪影響を与えない低分子化合物に分解されるプラスチック。

	ソーシャルビジネス	社会課題をビジネスの手法で解決する事業のことで、SDGs（持続可能な開発目標）や ESG 投資とともに注目が集まっている言葉
た行	デジタルツール	パソコンや AI などの電子機器を用いた道具。
	デマンド交通	経路、乗降地点、時刻のいずれか、あるいは全てに柔軟性を持たせることで、利用者の要求に応じて運行する乗合型の公共交通サービス形態のこと。
	デュアルスクール	地方と都市の 2 つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる新しい学校のかたち。地方と都市の交流人口や「関係人口」の増加による地方創生と少子化への対応、子どもの豊かな体験機会の提供の視点から、地方と都市の学校を結ぶ教育環境を創造することによって、地方と都市双方の視点に立った考え方のできる人材を育成するとともに、「二地域居住」や「地方移住」を促進することを目的としている。
	テレワーク	ICT を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。自宅を就業場所とする在宅勤務、施設に依存せずいつでもどこでも仕事が可能な状態のモバイルワーク、サテライトオフィス・テレワークセンター・スポットオフィス等を就業場所とする施設利用型勤務などがある。
	島嶼部（島しょ部）	大小さまざまな島がある地域などを指す語。
な行	二地域居住	都会に暮らす人が、週末や、一年のうちの一定期間を農山漁村で暮らすもの。団塊の世代のリタイアで、都市住民に広がることが予想されている生活様式。二拠点生活（にきよてんせいかつ）、デュアルライフともいう。
	農福連携	農業分野と福祉分野が連携して障害者や生活困窮者、高齢者等の農業分野への就農・就労を促進する取組。近年各地で盛んに行われており、農福連携は障害者等の農業分野での活躍を通じて、その自信や生きがいを創出し社会参画を促すことができる取組。農業分野においては、働き手の確保や荒廃農地の解消が課題となっており、農業経営者が障害者を受け入れることは、働き手の確保だけでなく、受入れのために障害に応じた作業を提供することが生産工程や作業体系を見直す機会となり、農業生産の拡大、効率化につながる効果が期待できる。さらに、丁寧な作業等、障害者個々の特長を踏まえることで良質な農産物の生産やブランド化につながる効果も期待される。また、福祉分野においては、就労先の不足や工賃・賃金の低さ等が課題となっているが、農業を通じ、障害者の社会参画の場の拡大や工賃・賃金の向上につながっていくことが期待されている。さらに、農産物の加工・販売等を通じて地域コミュニティの維持に貢献するなど、その役割を拡大する例も見られる。

	ノマドワーク	ノートパソコンや携帯端末等を用いて、オフィス以外の場所での働き方を指す言葉。英語で「遊牧民」を意味する「nomad（ノマド）」と、「労働者」を意味する「worker（ワーカー）」を組み合わせた造語。電源や Wi-Fi 環境のある場所であれば仕事が可能になる。
は行	反グローバリズム	グローバリゼーション（地球規模化）に反対する主張や運動などを指す呼称
	パートナーシップ制度	同性カップルを婚姻に相当する関係と公認する制度。国や自治体が LGBT からの性的少数者の権利を守り、差別を禁止する公的制度を導入し、独自の証明書（パートナーシップ証明書）を発行することで、異性間の婚姻と同様な行政・民間サービスや社会的配慮を受けやすくする。同性間の婚姻を認める同性婚制度とは異なり、あくまで婚姻は異性間にだけ認めるという法制を維持したまま同性カップルにも婚姻カップルと同様な権利やサービスを与える仕組み。
	ハザードエリア	被災の恐れが大きい区域。「災害レッドゾーン」と「浸水ハザードエリア等」とに二分される。災害レッドゾーンは、災害危険区域、土砂災害特別警戒区域、地すべり防止区域または急傾斜地崩壊危険区域に指定された区域である。また、浸水ハザードエリア等は、浸水想定区域、土砂災害警戒区域、都市洪水想定区域・都市浸水想定区域、津波浸水想定区域または津波災害警戒区域に指定された区域である。災害ハザードエリアについては、(1) 一定の開発の禁止、開発の抑制、住宅等の開発に対する勧告によって新規立地を抑制する、(2) 移転を支援する制度によってエリアからの移転を促進する、(3) 立地適正化計画において、災害レッドゾーンの居住誘導区域からの除外、居住誘導区域内で防災対策・安全確保策を定めることによって防災まちづくりを推進することとされている。
	パワーセンター	家電、医療、玩具等の業種別に複数のカテゴリーキラーと呼ばれる大型ディスカウント専門店を集めたショッピングセンターを指す。スペシャリティある品揃えとリーズナブルな価格が特徴。都市郊外に出店することが多い。80年代後半からアメリカで普及したショッピングセンターの業態であるが、日本ではパワーセンターそのものが集客力を高めている。
	半農半 X	自分や家族が食べる分の食料は小さな自給農でまかない、残りの時間は「X」自分のやりたいことに費やすという生き方。農のある暮らしをしながら、自分が大切だと思うこと、大好きな仕事をすることで精神的に満たされるという暮らし方は、収入が減少しても心豊かな暮らしをしたいという人たちから共感を集めている。「X」にあたる部分は人それぞれで、農的生活をしながら NGO で活動する「半農半 NGO」「半農半ライター」「半農半歌手」「半農半保育士」など様々。

	ビッグデータ	スマートフォン等を通じた位置情報や行動履歴、インターネットやテレビでの視聴・消費行動等に関する情報、また小型化したセンサー等から得られる膨大なデータ。
	フェイクニュース	定まった定義はないが、何らかの利益を得ることや意図的に騙すことを目的としたいわゆる「偽情報」や、単に誤った情報である「誤情報」や「デマ」などを広く指すもの。
	プラットフォーマー	企業や個人などが、特定のインターネットサイトなどの利用者を対象に、販売や広告などのビジネスを展開したり、情報発信したりする際のサービスやシステムといった基盤（プラットフォーム）を提供する事業者。
	ブロードバンド基盤	高速・大容量のデータ通信が可能な回線の基盤
	分散避難	「避難所」への避難以外にも、「親戚・知人宅」「ホテル」「在宅避難」「車中泊」などさまざまな避難先に、地域の人たちが分散して避難すること。
ま行	メディアリテラシー	メディアの特性を理解して使いこなす複合的な能力。新聞、雑誌、ラジオ、テレビといった既存のマス・メディアのほか、インターネットの電子メール、ウェブサイト、ブログなどの新しいメディアの特性を知り、その情報を処理する新しい能力。メディアからもたらされる様々な情報を主体的かつ批判的に受け止め読みこなす能力、電子メールやウェブサイトなどで発信する情報をもたらす影響を予測する能力、双方向コミュニケーションにおける色々なトラブルを処理・回避する能力、インターネット社会における悪意や犯罪の存在、それを防ぐためのセキュリティの知識など。
	モーダルシフト	トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。現在では、環境負荷の低減は多くの企業で社会的責任(CSR)と位置付けて、商品の生産から廃棄にいたる全ての場面で取り組まれているが、その中で輸送（物流）における環境負荷の低減にはモーダルシフトや輸配送の共同化、輸送網の集約等の物流効率化が有効である。その中でも、特にモーダルシフトは環境負荷の低減効果が大きい取り組みである。
ら行	ラストワンマイル	物流、交通業界において多く用いられ、「顧客にモノ・サービスが到達する最後の接点」を指す。
	リカレント教育	学校を卒業して仕事に就いても学ぶことをやめず、仕事と交互に教育を受けていくこと
	リダンダンシー	「冗長性」、「余剰」を意味し、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化し、予備の手段が用意されている様な性質を示す。

	リノベーション	中古住宅に対して、機能・価値の再生のための改修、その家での暮らし全体に対処した、包括的な改修を行うこと。例えば、水・電気・ガスなどのライフラインや構造躯体の性能を必要に応じて更新・改修し、ライフスタイルに合わせて間取りや内外装を刷新することで、快適な暮らしを実現する現代的な住まいに再生していくこと。
わ行	ワークライフバランス	直訳では仕事と生活の調和。「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」と定義されている。 具体的に示すのは、就労による経済的自立が可能な社会、健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会、多様な働き方・生き方が選択できる社会。
	ワーケーション	Work(仕事)と Vacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと。休暇主体と仕事主体の2つのパターンがある。
A	AI	「Artificial Intelligence」の略で人工知能と訳される。
B	B級グルメ	高級な食材や一流のサービスによる「A級」の料理ではなく、日常的に食べられている安くて庶民的なおいしい料理。地域の基幹産業で働く人々の簡易な食事として生まれ、地元の食材や味付けを生かした地域独特の料理として根付いてきたものもある。地域の人に親しまれてきた独自の食文化を「ご当地グルメ」と見直し、町おこしに活用しようとする動きも近年見られる。
C	COVID-19	新型コロナウイルスである“SARS-CoV2”による感染症のこと。世界保健機関（WHO）はこのウイルスによる感染症のことを“COVID-19”と名付けた。2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生し、短期間で全世界に広がり、2021年1月12日時点で全世界での感染者数は約8,970万人にのぼり、死者は約194万人となっている。新型コロナウイルスは中国で発生したと考えられているが、アメリカやブラジルなどの南米諸国、スペイン、イタリアなどのヨーロッパ地域でも爆発的な流行が生じ、感染者・死者ともに発祥地の中国を大きく上回った状態となっている。日本国内でも、2021年1月12日時点で確認された感染者は全国で約29万人にのぼり、およそ4,000人が命を落としている。
	CO ₂ フリー	CO ₂ を排出しないこと。
E	eスポーツ	「エレクトロニック・スポーツ」の略。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の総

		称。
G	GAFA	(Google、Apple、Facebook、Amazon)の4社のこと。頭文字を取って称される。いずれも米国を代表するIT企業であり、4社は世界時価総額ランキングの上位を占めている。
I	ICT	「Information and Communication Technology」の頭文字をとった言葉で、「情報通信技術」を意味する。IT(Information Technology)とほぼ同義ではあるが、コンピューター関連の技術をIT、コンピューター技術の活用に着目する場合をICTと区別して用いる場合もある。
	ICT教育	パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術(ICT)を活用した教育手法のこと。
	IoT	(Internet of Things)の略。あらゆるモノをインターネット(あるいはネットワーク)に接続する技術で、日本ではモノのインターネットと訳される。
	ITリテラシー	通信・ネットワーク・セキュリティなど、ITにひも付く要素を理解する能力、操作する能力
L	LGBTQIA	同性愛者や両性愛者、トランスジェンダーなどを指すセクシャルマイノリティの総称。同様の意味を持つ「LGBT」に変わって「QIA」を頭文字に持つセクシュアリティが含まれる、より多様性を表現した言葉。レズビアン(女性の同性愛者)、ゲイ(男性の同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(出生時の体の性別と性自認が一致しない人)、クエスチョニング(性自認や性的嗜好が定まっていない)(またはクィア)、インターセックス、アセクシャル(無性愛)の頭文字を取ったもの。
M	MaaS	(Mobility as a Service)の略。地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する手段。
S	SDGs	(Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標、誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されている。
U	UJIターン	進学や就職で大都市圏へ移住した地方出身者が再び出身地に移り住む「Uターン」、地方出身者が出身地には戻らず、出身地に近い都市へ移り住む「Jターン」、出身地とは別の地方へ移り住む(主に大都市圏から地方に移住することを示す)「Iターン」をまとめて総称したもので、労働者の移住する動きを表している。

3	3 R	3 R（スリーアール）とは、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の3つのR（アール）の総称。一つめのR（リデュース）とは、物を大切に使いごみを減らすこと。二つめのR（リユース）とは、使える物は繰り返し使うこと。三つめのR（リサイクル）とは、ごみを資源として再び利用すること。
---	-----	---